SAMSUNG

ユーザー マニュアル

SyncMaster NS190 NS220 NS240

色と外観は製品によって異なる場合があり、製品の仕様は性能の向上のために予告無く変更される場合があります。

BN46-00169C-12

著作権について

このマニュアルの内容は、品質向上のために予告なく変更される場合があります。

© 2011 Samsung Electronics

このマニュアルの著作権は、Samsung Electronics が保有しています。

このマニュアルの一部または全部について、Samsung Electronics の許可なく使用または複製することはできません。

SAMSUNG ロゴおよび SyncMaster ロゴは、Samsung Electronics の登録商標です。

Microsoft、Windows は、Microsoft Corporation の登録商標です。

VESA、DPM および DDC は、Video Electronics Standards Association の登録商標です。

本製品は日本国内用として製造、販売しています。日本国外で使用された場合、当社は責任を負い兼ねます。また、技術相談や、アフターサービスなども国外では行っておりませんのでご注意ください。

本製品は一般OA用として設計・製造されています。一般OA用以外の用途で使用される場合は、保証期間内であっても無償修理の対象外となることがありますのでご注意ください。

このマニュアルで使用されるアイコン

	以下の図はあくまでも参考であり、実際の状況とは異なる場合があります。

安全面での予防措置に使用される記号

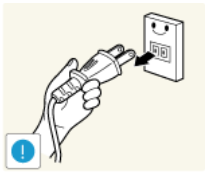
警告	指示に従わない場合には、重傷または死亡事故の原因となることがあります。
注意	指示に従わない場合には、ケガまたは物損事故の原因となることがあります。
	禁止行為を示しています。
	順守すべき行為を示しています。

お手入れに関する注意事項

クリーニング

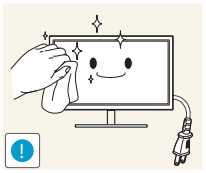
高度 LCD のパネルおよび外装はキズが付きやすいため、清掃の際はご注意ください。

清掃は、次の手順で行ってください。



1. モニターと PC の電源をオフにします。
2. モニターから電源コードを外します。

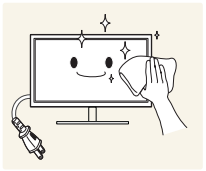
電源コードはプラグ部分を持ち、濡れた手でコードに触れないでください。感電の原因となることがあります。



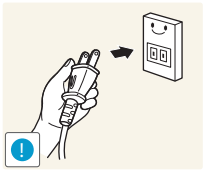
3. 清潔で柔らかい乾いた布でモニターを拭きます。

- アルコール、溶剤または界面活性剤を含む洗浄剤をモニターに使用しないでください。

- 製品に水や洗浄剤を直接かけないでください。



4. 柔らかい乾いた布を水で濡らし、しっかりと絞ってから、モニターの外装を清掃します。

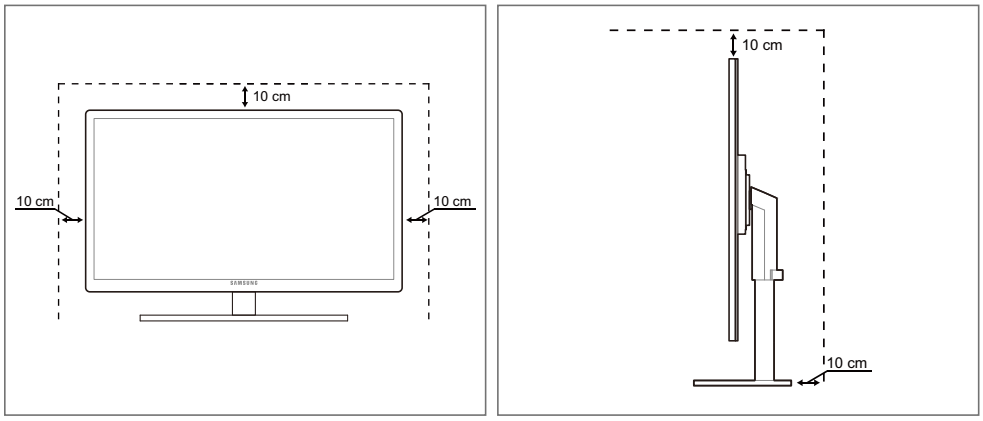


5. 製品の清掃が終わったら、電源コードを製品に接続します。
6. モニターと PC の電源をオンにします。

設置場所の安全確保

- 換気のために、製品とその他の物体（たとえば壁）との間には必要な距離をとってください。内部温度の上昇により、火災、感電または製品の故障の原因となることがあります。

外観は製品のモデルによって異なる場合があります。



保管時の注意

モニター内部の清掃が必要な場合は、Samsung カスタマー サービス センター（111 ページ）までお問い合わせください。（別途作業費がかかります）

安全にお使いいただくために

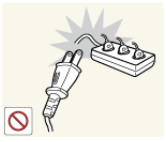
電気に関する注意事項

以下の図はあくまでも参考であり、実際の状況とは異なる場合があります。

警告

破損した電源コードまたはプラグ、あるいはがたつきのある電源ソケットを使用しないでください。

- 感電または火災の原因となることがあります。



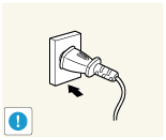
同じ電源ソケットに多数の製品の電源プラグを接続しないでください。

- ソケットが過熱し火災が発生することがあります。

ご使用になる前に

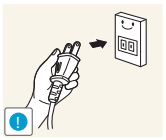
濡れた手で電源プラグに触れないでください。

- 感電の原因となることがあります。



電源プラグはグラグラしないよう最後まで差し込んでください。

- しっかりと接続していない場合、火災の原因となることがあります。



電源プラグは、アースされた電源ソケットに接続してください（絶縁クラス 1 の機器のみ）。

- 感電またはケガの原因となることがあります。

電源コードを無理に曲げたり引っ張ったり、または重い物で電源コードを圧迫しないでください。

- 電源コードが破損して、感電や火災の原因となることがあります。

電源コードや製品を熱源の近くに置かないでください。

- 感電または火災の原因となることがあります。

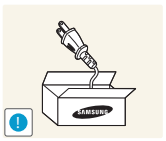
電源プラグの先端や電源ソケットに付いたほこりなどの異物は、乾いた布を使用して取り除いてください。

- 火災の原因となることがあります。

注意

製品の使用中に電源コードを抜かないでください。

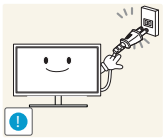
- 感電により製品が破損することがあります。



弊社が提供する電源コードのみを使用してください。

- また、同梱された電源コードを他の電気機器で使用しないでください。

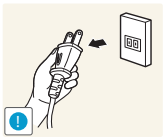
ご使用になる前に



電源コードは、遮るものがない場所にある電源ソケットに接続してください。

- 製品に問題が発生した場合は、電源コードを抜いて完全に電源をオフにします。

  製品の電源ボタンだけでは、電源を完全にオフにすることはできません。



電源コードを電源ソケットから抜くときは、プラグ部分を持ってください。

- 感電または火災の原因となることがあります。

インストール方法

⚠ 警告

ろうそく、虫除けまたはタバコを製品の上に置いたり、製品を熱源の近くに設置したりしないでください。

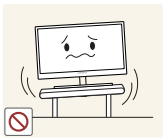
- 火災の原因となることがあります。

製品を本棚や壁付きクローゼットなどの換気の悪い狭い場所に設置しないでください。

- 内部温度が上昇し火災が発生することがあります。

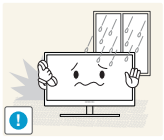
製品梱包用のビニール袋は、お子様の手の届かないところに置いてください。

- お子様がビニール袋で窒息することがあります。



安定しないまたは振動する場所（不安定な棚、傾斜面など）に製品を設置しないでください。

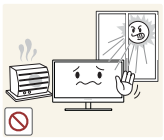
- 製品が落下して破損したり、ケガの原因となることがあります。
- 振動の多い場所で製品を使用すると、製品が破損したり火災の原因となることがあります。



製品を車内に設置したり、ほこり、湿気（水切りなど）、油または煙にさらされる場所に設置したりしないでください。

- 感電または火災の原因となることがあります。

ご使用になる前に



製品を直射日光の当たる場所や、ストーブなどの熱源にさらされる場所に設置しないでください。

- 製品の寿命が短くなったり火災の原因となることがあります。

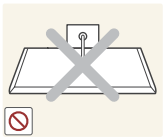
製品をお子様の手の届くところに設置しないでください。

- 製品が落下してお子様のケガの原因となることがあります。

注意

製品を移動させるときは落下にご注意ください。

- 製品の故障やケガの原因となることがあります。

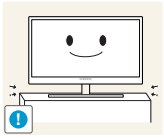


製品の前面を下にして置かないでください。

- 画面が破損することがあります。

製品をキャビネットや棚に設置するときには、製品の前面下側がはみ出ないようにしてください。

- 製品が落下して破損したり、ケガの原因となることがあります。
- 製品に合ったサイズのキャビネットや棚に設置してください。



製品を置くときは丁寧に置いてください。

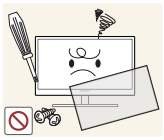
- 製品が落下して破損したり、ケガの原因となることがあります。

通常とは異なる場所（大量の微粒子、化学物質、極端な高温または低温にさらされる場所、あるいは長期間にわたって製品を連続稼動させる必要のある空港や駅）に製品を設置した場合には、製品性能に深刻な影響を与える可能性があります。

- これらの場所に製品を設置する場合は、事前に Samsung カスタマー サービス センター（111 ページ）にご相談ください。

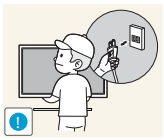
ご使用の際の注意事項

⚠ 警告



製品には高電圧が使用されています。お客様ご自身で製品を分解、修理または改造しないようにしてください。

- 感電または火災の原因となることがあります。
- 修理が必要な場合は、Samsung カスタマー サービス センター (111 ページ) までお問い合わせください。

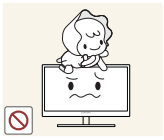


製品を移動するときは、電源スイッチをオフにして、電源ケーブルなどの接続ケーブルをすべて取り外してから移動してください。

- 電源コードが破損して、火災や感電の原因となることがあります。

製品から異音、焦げくさい臭い、または煙が発生した場合は、直ちに電源コードを抜いて Samsung カスタマー サービス センター (111 ページ) までご連絡ください。

- 感電または火災の原因となることがあります。



お子様が製品にぶら下がったりよじ登ったりしないようにしてください。

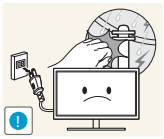
- 製品が落下して、お子様のケガや場合によっては重傷の原因となることがあります。

製品が落下したり外装が破損した場合は、電源をオフにし、電源コードを抜いてから、Samsung カスタマー サービス センター (111 ページ) までご連絡ください。

- 感電または火災の原因となることがあります。

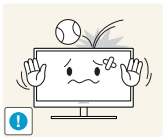
重い物や玩具、菓子などを製品の上に置かないでください。

- お子様がこれらの玩具や菓子を取ろうとして重い物や製品自体が落下し、重傷の原因となることがあります。



落雷や雷雨があるときは、製品の電源をオフにして電源ケーブルを抜いてください。

- 感電または火災の原因となることがあります。



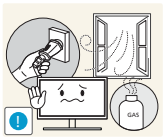
製品の上に物を落としたり、衝撃を与えないでください。

- 感電または火災の原因となることがあります。

ご使用になる前に

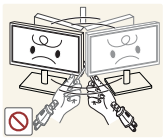
電源コードなどのケーブルを使用して製品を引っ張らないでください。

- 電源コードが破損して、製品の故障、感電または火災の原因となることがあります。



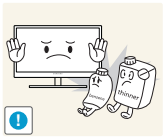
ガス漏れが発生した場合は、製品および電源プラグに触れないようにして、直ちに換気を行ってください。

- 火花が発生して、爆発または火災の原因となることがあります。



電源コードやその他のケーブルを使用して製品を持ち上げたり引っ張ったりしないでください。

- 電源コードが破損して、製品の故障、感電または火災の原因となることがあります。



可燃性のスプレーや物を製品の近くで使用したり、製品の近くに置いたりしないでください。

- 爆発または火災の原因となることがあります。

テーブルクロスやカーテンで通気口を塞がないようにしてください。

- 内部温度が上昇し火災が発生することがあります。

金属性の物（箸、硬貨、ヘアピンなど）や可燃物（紙、マッチなど）を製品の通気口やポートに入れないでください。

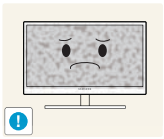
- 水や異物が製品内に入った場合は、電源をオフにし、電源コードを抜いてから、Samsung カスタマー サービス センター（111 ページ）までご連絡ください。
- 製品の故障、感電または火災の原因となることがあります。

水の入った容器（花瓶、コップ、瓶など）や金属性の物を製品の上に置かないでください。

- 水や異物が製品内に入った場合は、電源をオフにし、電源コードを抜いてから、Samsung カスタマー サービス センター（111 ページ）までご連絡ください。
- 製品の故障、感電または火災の原因となることがあります。

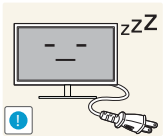
ご使用になる前に

⚠ 注意



静止画像を長時間表示したまま放置すると、残像の焼き付きや欠陥画素の原因になることがあります。

- 長期間製品を使用しない場合は、省電力モードをオンにするか動画のスクリーン セーバーを設定してください。

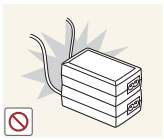


休暇などで長期間製品を使用しない場合には、電源コードを電源ソケットから外してください。

- ほこりの堆積、過熱、感電または漏電が発生し、火災の原因となることがあります。

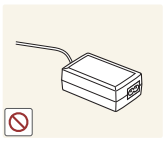
製品に適した解像度および周波数を使用してください。

- 視力低下の原因となることがあります。



複数の DC 電源アダプタを一緒に置かないでください。

- 火災の原因となることがあります。



DC 電源アダプタは、ビニール袋から取り出して使用してください。

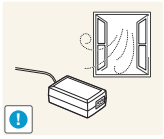
- 火災の原因となることがあります。

DC 電源デバイスの内部に水が入ったり、デバイスが濡れることのないようにしてください。

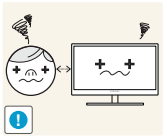
- 感電または火災の原因となることがあります。
- 屋外の雨や雪にさらされる場所で製品を使用しないでください。
- 床の清掃時に DC 電源アダプタが濡れないようにしてください。

DC 電源アダプタを暖房機器の近くに置かないでください。

- 火災の原因となることがあります。



DC 電源アダプタは、換気のよい場所に置いてください。



画面を近すぎる位置から長期間見続けると、視力が低下することがあります。

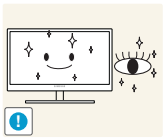
ご使用になる前に

スタンドを持ってモニターを上下逆にしたり移動させたりしないでください。

- 製品が落下して破損したり、ケガの原因となることがあります。

加湿器やコンロを製品の周辺で使用しないでください。

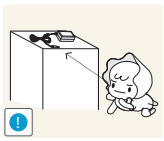
- 感電または火災の原因となることがあります。



製品を使用するときには、1 時間ごとに 5 分以上は目を休めるようにしてください。

- 疲れ目が緩和されます。

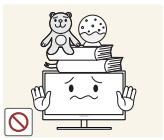
電源を長時間オンの状態にするとディスプレイが高温になるため、ディスプレイには触れないようにしてください。



製品で使用される細かな付属品は、お子様の手の届かないところに保管してください。

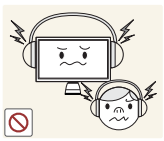
製品の角度やスタンドの高さを調整するときにはご注意ください。

- お子様の指や手が挟まれてケガをすることがあります。
- 製品を傾け過ぎると、落下してケガの原因となることがあります。



製品の上に重い物を置かないでください。

- 製品の故障やケガの原因となることがあります。



ヘッドフォンまたはイヤフォンを使用するときは、音量を大きくしすぎないようにしてください。

- 音が大きすぎると、聴覚に影響を与えることがあります。

製品使用時の正しい姿勢

次の事項を守り、正しい姿勢で製品を使用するようにしてください。

- 背中を伸ばします。
- 眼は画面から 45～50cm 離し、画面を少し見下ろすようにします。
  また、画面は顔の真正面にくるようにします。
- 画面に光が反射しないように角度を調整します。
- 前腕を上腕に対して垂直に保ち、前腕が手の甲と同じ高さになるようにします。
- 肘を直角に保ちます。
- 膝を 90 度以上曲げた状態でかかとが床に着き、さらに両腕が心臓より下にくるように製品の高さを調整します。

目次

ご使用になる前に

2 **著作権について**
2 このマニュアルで使用されるアイコン
2 安全面での予防措置に使用される記号

3 **お手入れに関する注意事項**
3 クリーニング
4 設置場所の安全確保
4 保管時の注意

4 **安全にお使いいただくために**
4 電気に関する注意事項
6 インストール方法
8 ご使用の際の注意事項

12 **製品使用時の正しい姿勢**

準備

18 **内容の確認**
18 梱包材の取り外し
19 内容物の確認

20 **部品**
20 前面のボタンについて
22 背面
23 右側面

24 **インストール方法**
24 スタンドの取り付け
25 製品の傾きと高さの調整
25 モニターの回転
26 ウォール マウント キットまたはデスクトップ スタンドの取り付け
27 盗難防止用ロック

"PCOIP" の使用

28 **"PC over IP" とは？**

目次

29 **"PCoIP" を使用するための接続方法**
29 DVI ケーブルを使用して接続していますか？
29 ヘッドフォンの接続スピーカー
30 LAN への接続
31 マイクの接続
31 USB デバイスの接続
32 2 台目のモニターの接続

33 **"PCoIP"**
33 OSD（オンスクリーン ディスプレイ）
33 接続画面
35 OSD **オプション** メニュー
35 **Configuration** ウィンドウ
49 **Diagnostics** ウィンドウ
52 **Information** ウィンドウ
55 **User Settings** ウィンドウ
58 **Password** ウィンドウ

60 **LAN ケーブルを使用してホスト PC に接続する**

入力信号デバイスの接続と使用

61 **接続の前に**
61 接続前のチェックポイント

62 **PC の接続と使用**
62 PC との接続
64 リモコン (RS232C)
66 "Windows Driver" のインストール
67 USB-to-Serial ドライバのインストール
68 最適な解像度の設定
69 PC を使用した解像度の変更

72 **電源の接続**

画面の設定

73 **明るさ**
73 **明るさ** の設定

74 **コントラスト**
74 **コントラスト**の設定

目次

75 シャープネス
75 シャープネスの設定

76 SAMSUNG MAGIC Bright
76 SAMSUNG MAGIC Bright の設定

77 SAMSUNG MAGIC Angle
77 SAMSUNG MAGIC Angle の設定

78 粗調整
78 粗調整

79 微調整
79 微調整

色合いの設定

80 SAMSUNG MAGIC Color
80 色調 の設定

81 赤
81 赤の設定

82 緑
82 緑の設定

83 青
83 青の設定

84 色温度
84 色温度 の設定

85 ガンマ
85 ガンマの設定

画面のサイズとポジションの変更

86 H- ポジション と V- ポジション
86 H- ポジション と V- ポジションの設定

87 画像サイズ
87 映像画像サイズを変更

目次

88 メニューの H- ポジションとメニューの V- ポジション
88 メニューの H- ポジションとメニューの V- ポジション の設定

セットアップとリセット

89 リセット
89 設定の初期化（リセット）
90 言語
90 言語 の変更
91 オフタイマーのオン / オフ
91 オフタイマーのオン / オフ の設定
92 オフタイマー設定
92 オフタイマー設定の設定
93 PC/AV モード
93 PC/AV モードの設定
94 繰り返し回数
94 繰り返し回数 の設定
95 カスタマイズキー
95 カスタマイズキー の設定
96 自動ソース検出
96 自動ソース検出の設定
97 表示時間
97 表示時間の設定
98 メニューの透明度
98 メニューの透明度の変更

インフォメーションメニューおよびその他

99 インフォメーション
99 インフォメーションの表示
99 起動画面での 明るさ の設定

目次

ソフトウェアのインストール
100 ナチュラルカラー
100 ナチュラルカラー とは？
101 MultiScreen
101 ソフトウェアのインストール
102 ソフトウェアの削除

トラブルシューティング ガイド
103 Samsung カスタマー サービス センターにお問い合わせいただく前に
103 製品のテスト
103 解像度と周波数の確認
103 以下について確認します。
105 Q & A

仕様
106 一般
108 標準信号モード表

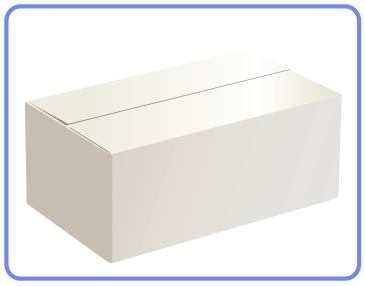
付録
111 お客様相談ダイヤル
112 用語

1 準備

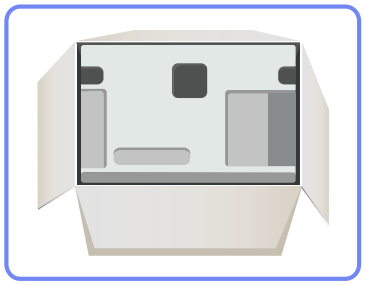
1.1 内容の確認

1.1.1 梱包材の取り外し

1 梱包されている箱を開きます。鋭利なものを使用して開梱する場合は製品を傷付けないようご注意ください。

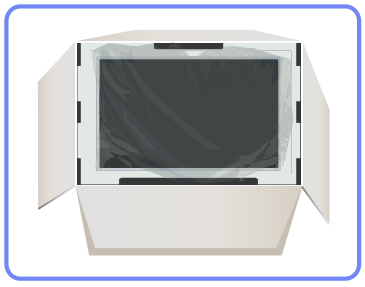


2 製品から発泡スチロールを取り外します。



3 内容物を確認して、発泡スチロールとプラスチックの袋を取り外します。

- 実際の内容物の外観は、表示とは異なる場合があります。
- この図はイメージです。

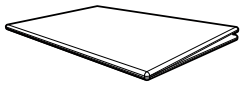


4 箱は、将来製品を移動させる時のために乾燥した場所に保管しておきます。

1.1.2 内容物の確認

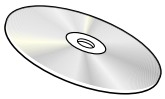
- 不足している物がある場合は、製品を購入された販売店にお問い合わせください。
- 内容物および別売品の外観は、表示とは異なる場合があります。

部品

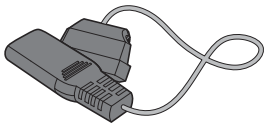


クイック セットアップ ガイド

保証書
（一部の地域では利用できません）



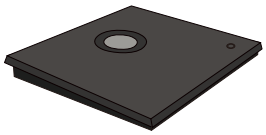
ユーザー マニュアル



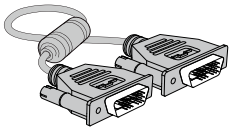
電源ケーブル

DC 電源アダプタ

電源延長コード (DC 14V)



スタンド基部

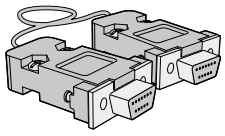


DVI ケーブル

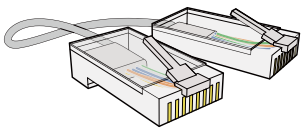
- 付属品は、販売している地域や国によって異なる場合があります。
- 製品のスタンド ベースには回路基板が入っています。スタンド ベースの取り扱いには十分に注意してください。

別売り品目

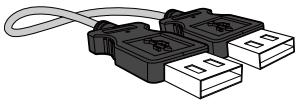
以下の別売品は、最寄りの小売店でご購入いただけます。



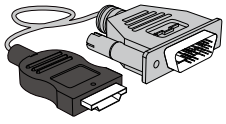
RS-232C ケーブル



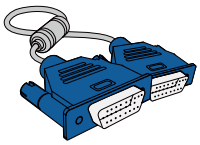
LAN ケーブル



USB ケーブル



HDMI-DVI ケーブル

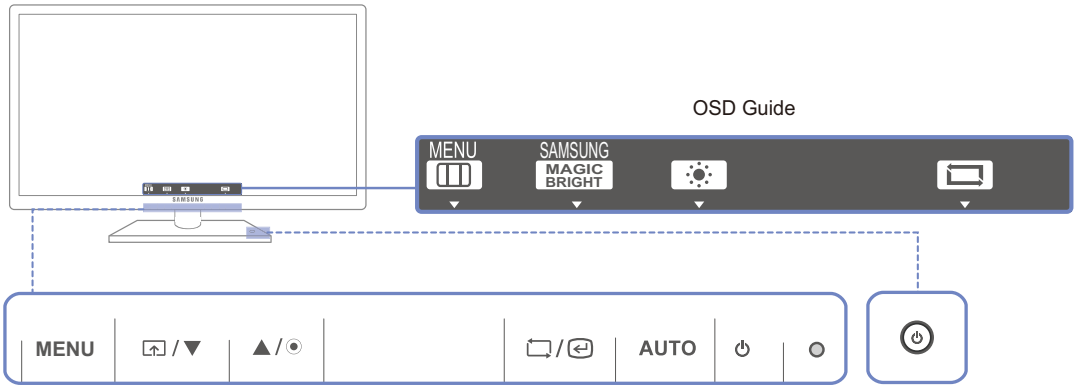


D-SUB ケーブル

1.2 部品

1.2.1 前面のボタンについて

部品の色および形状は、図示されているものとは異なる場合があります。仕様は、品質向上のために予告なく変更されることがあります。

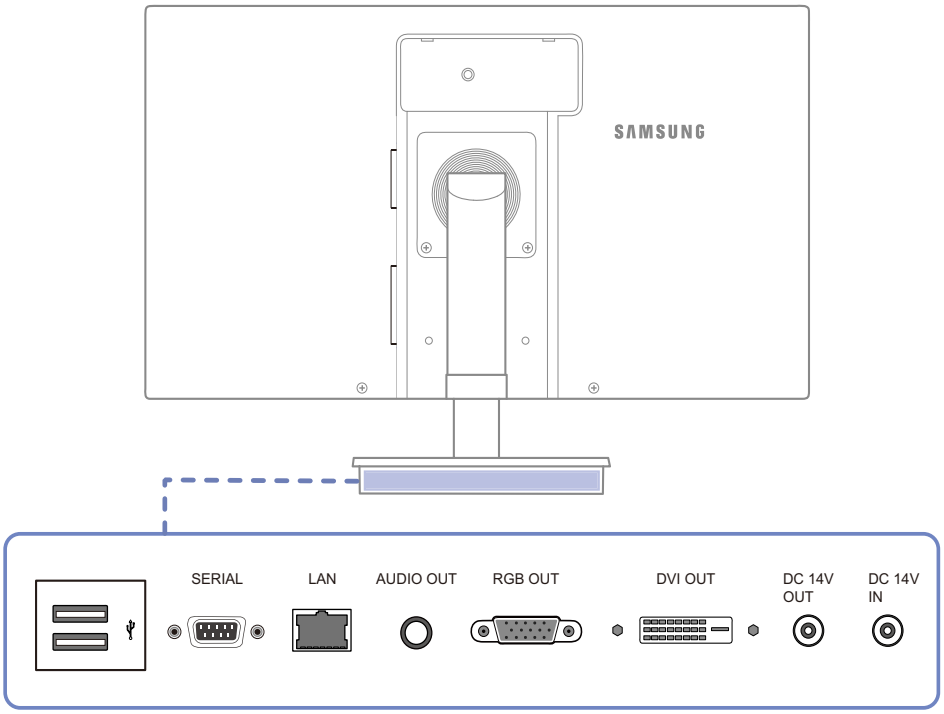


アイコン	説明
MENU	• オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューを開いたり、メニューを終了します。終了する前のメニューに戻る場合にも使用します。 • OSD 制御ロック:現在の設定を維持し、設定への意図しない変更が行われないように OSD 制御をロックします。 有効化:OSD 制御をロックするには、MENU ボタン[MENU]を 5 秒間押したままにします。 無効化:OSD 制御のロックを解除するには、MENU ボタン[MENU]を 5 秒間以上押したままにします。 OSD 制御がロックされている場合、 • 明るさ および コントラスト を調整したり、インフォメーション を表示することができます。 • カスタマイズキー 機能を使用するには、[]ボタンを押します。(OSD 制御がロックされる前に設定したカスタマイズキー機能は、OSD 制御のロック後も使用できます。)
	カスタマイズキー を設定し、[] を押します。以下のオプションが有効になります。 SAMSUNG MAGICAngle – SAMSUNG MAGICBright – 画像サイズ カスタマイズキー を設定するには、セットアップとリセット → カスタマイズキー に移動し、目的のモードを選択します。

アイコン	説明
▲/▼	メニュー間を上下に移動します。OSD メニューのオプション値を調整する場合にも使用します。
◉	画面の輝度を制御します。
⏎/⏎	選択したメニューを確定します。 OSD メニューが表示されていないときに [⏎/⏎] ボタンを押すと、入力ソース (**アナログ**/**デジタル**) が切り替わります。[⏎/⏎] ボタンを押して電源をオンにするか、入力ソースを変更した場合は、変更した入力ソースを示すメッセージが画面左上に表示されます。
AUTO	[AUTO] ボタンを押して、画面の設定を自動的に調整します。 [画面のプロパティ] で解像度を変更すると、**自動調整** 機能が有効になります。
⏻	画面のオン/オフを切り替えます。
○ (電源ランプ)	製品が正常に動作しているときには電源インジケーターが点灯します。 消費電力を抑えるために、長期間製品を使用しない場合には電源コードを抜いておくことをお勧めします。
⏻	これはPCoIPの電源ボタンです。スタンド ベースがモニタに接続されている場合にのみ有効です。 ボタンが正常に機能している場合には、ボタンのライトが点灯します。 このボタンを4秒以上長押しすると、サーバーへの接続が切断されます。 スタンドとモニターの接続方法については、"PCoIP の使用" の "2.2 "PCoIP"を使用するための接続方法" を参照してください。
OSD Guide	製品の制御ボタンを押すと、OSD ガイドが表示され、続いてメニューが表示されます。(ガイドには押したボタンの機能が表示されます。) ガイドの表示中にメニューを表示するには、対応するボタンをもう一度押します。 OSD ガイドは、機能または製品モデルによって異なる場合があります。実際の製品を参照してください。

1.2.2 背面

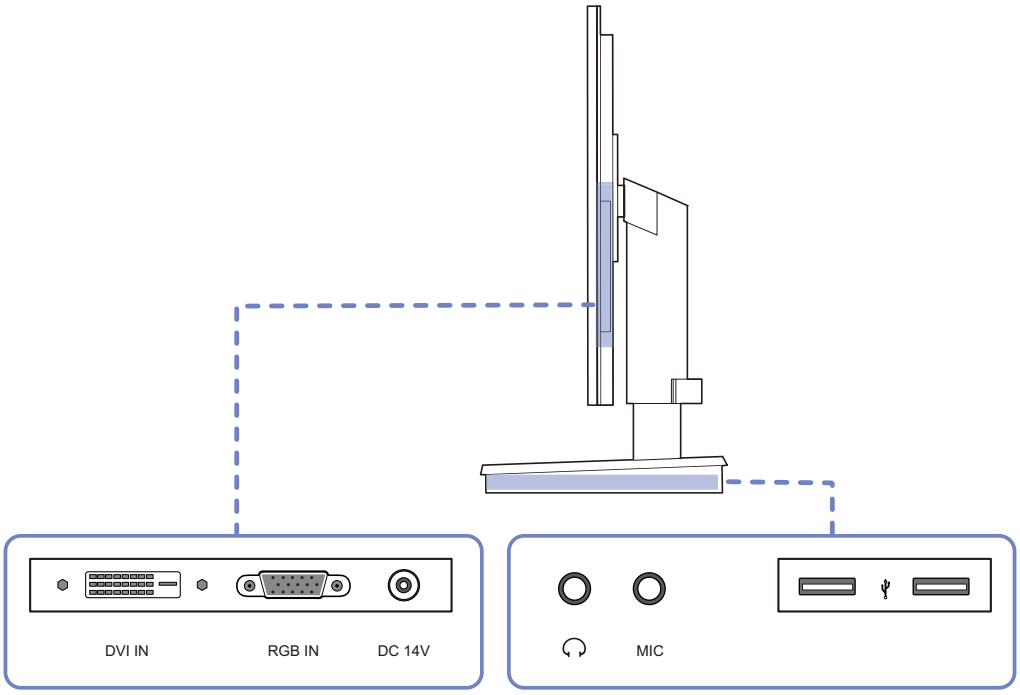
部品の色および形状は、図示されているものとは異なる場合があります。仕様は、品質向上のために予告なく変更されることがあります。

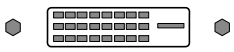
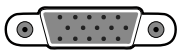


ポート	説明
	USB デバイスに接続します。
	RS-232C 接続（インターフェイス）をサポートしているデバイスを接続することができます。
	LAN ケーブルを使用してネットワークに接続します。
	ヘッドフォンなどのオーディオ出力デバイスを接続します。
	D-SUB ケーブルを使用して 2 台目のモニターを接続します。
	DVI ケーブルを使用してスタンド ベースまたは 1 台目のモニターを接続します。
[DC 14V OUT]	モニター用電源ケーブルを使用してモニターの [DC 14V] に接続します。
[DC 14V IN]	DC 電源アダプタを接続します。

1.2.3 右側面

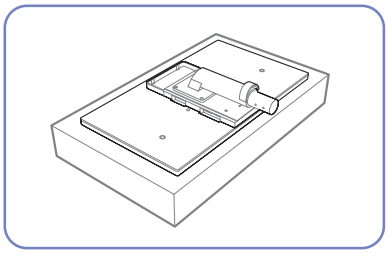
部品の色および形状は、図示されているものとは異なる場合があります。仕様は、品質向上のために予告なく変更されることがあります。



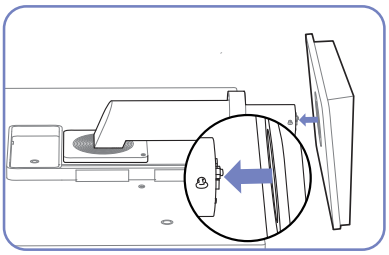
ポート	説明
	DVI ケーブルを使用して PC またはスタンド ベースに接続します。
	D-SUB ケーブルを使用して PC またはスタンド ベースに接続します。
	電源延長ケーブルを使用してスタンド ベースの [DC 14V OUT] ポートに接続します。
	ヘッドフォンなどのオーディオ出力デバイスを接続します。
	マイクに接続します。
	USB デバイスに接続します。

1.3 インストール方法

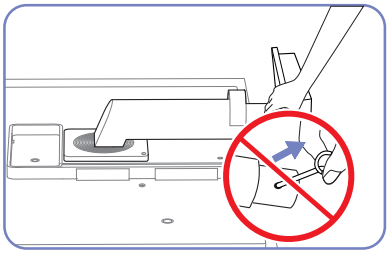
1.3.1 スタンドの取り付け



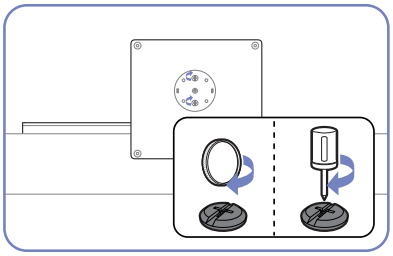
平らな場所に保護用の布またはクッションを置きます。次に、布またはクッションの上に、画面を下にして製品を置きます。



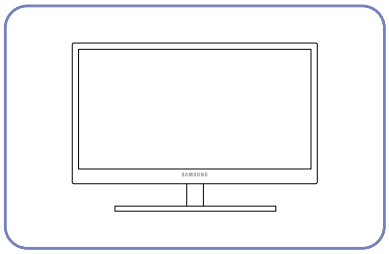
スタンド ベースを、矢印の方向に向かってスタンドに挿入します。



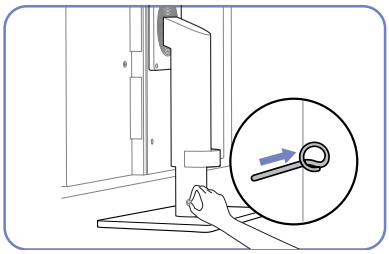
スタンドの取り付けが完了するまで、固定ピンを取り外さないでください。



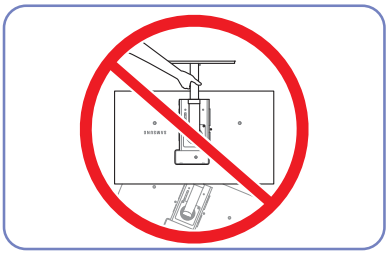
スタンド ベースの底面のネジを（ドライバーまたは硬貨を使用して）固く締めます。



スタンドの取り付け後、製品を直立させます。



固定ピンを取り外し、スタンドを調整することができます。



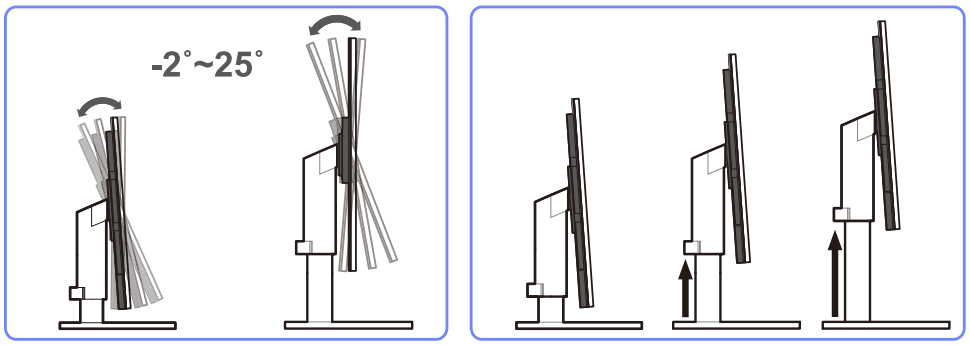
– 警告

スタンドのみを持って、製品を逆さまにしないでください。

- 分解は、組み立てと逆の手順で行います。
- 部品の色および形状は、図示されているものとは異なる場合があります。仕様は、品質向上のために予告なく変更されることがあります。

1.3.2 製品の傾きと高さの調整

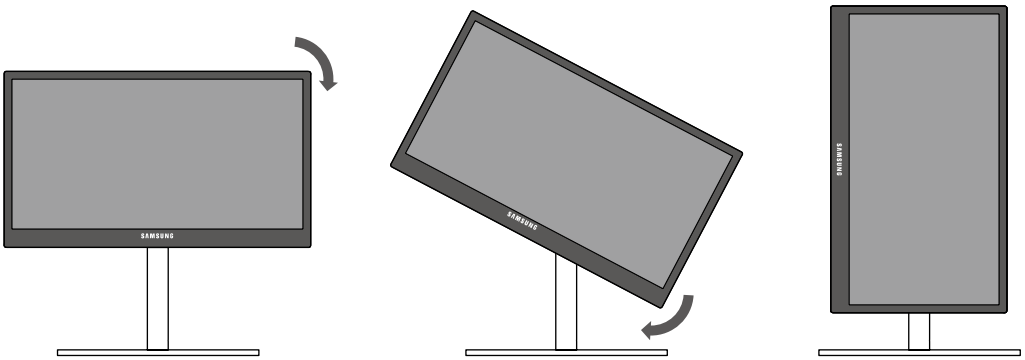
部品の色および形状は、図示されているものとは異なる場合があります。仕様は、品質向上のために予告なく変更されることがあります。



- 高さを調整するには、固定ピンを取り外します。
- モニターの傾きと高さを調整することができます。
- 製品の上部中央を持ち、慎重に高さを調整します。

1.3.3 モニターの回転

下図に示すように、モニターを回転させることができます。

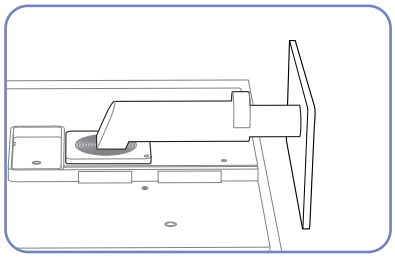


- モニターを回転させる前に、スタンドを完全に伸張させてください。
- スタンドを完全に伸張させずにモニターを回転させると、モニターの角が床にぶつかり、損傷することがあります。
- モニターを反時計回りに回転させないでください。モニターが損傷することがあります。

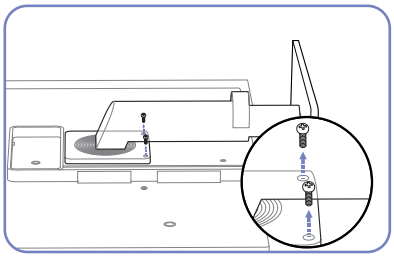
1.3.4 ウォール マウント キットまたはデスクトップ スタンドの取り付け

取り付けの前に

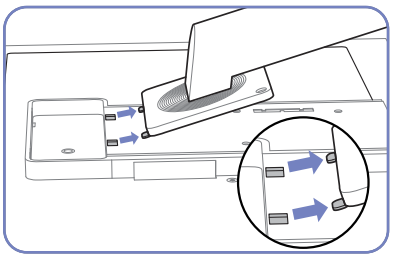
製品の電源をオフにして、電源ソケットから電源ケーブルを取り外します。



平らな場所に保護用の布またはクッションを置きます。次に、布またはクッションの上に、画面を下にして製品を置きます。

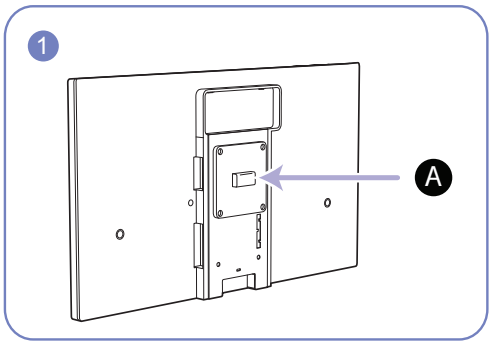


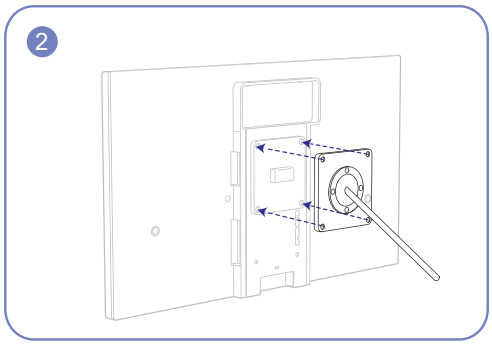
製品の背面にある 4 本のネジを取り外します。

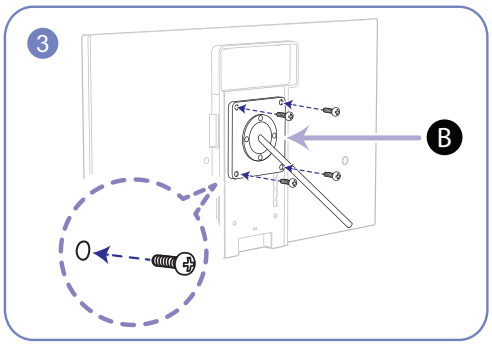


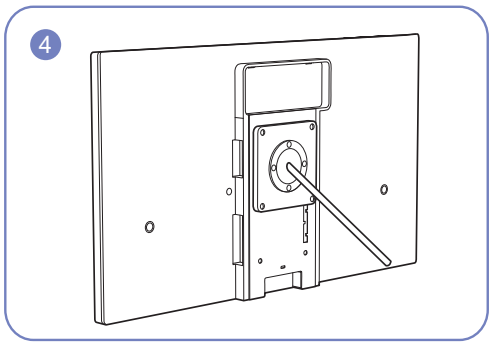
スタンドを持ち上げて取り外します。

ウォール マウント キットまたはデスクトップ スタンドの取り付け









Ⓐ ここにウォール マウント キットまたはデスクトップ スタンドを取り付けます

Ⓑ ブラケット（別売り）

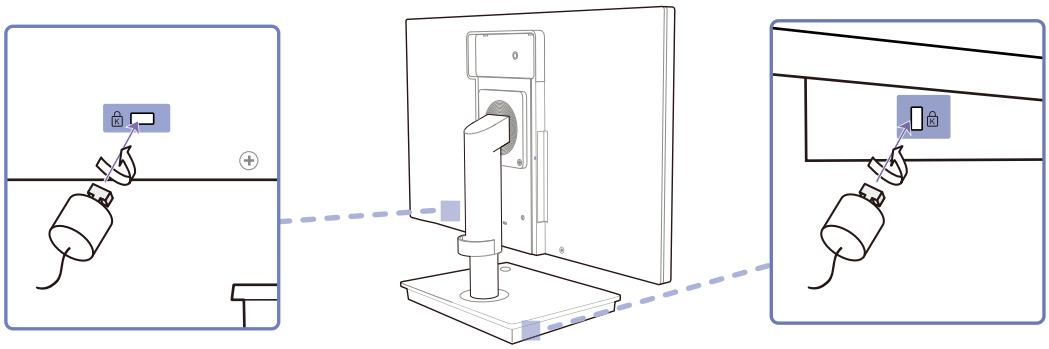
溝と溝を合わせ、ネジをしっかりと締めて、製品のブラケットと取り付けるウォール マウント キットまたはデスクトップ スタンドの対応する部品を固定します。

注意

- 標準の長さよりも長いネジを使用すると、製品の内部コンポーネントを損傷することがあります。
- VESA 規格に準拠していないウォール マウントで必要なネジの長さは、仕様によって異なります。
- VESA 規格に準拠していないネジを使用しないでください。ウォール マウント キットまたはデスクトップ スタンドの取り付け時に過度な力を加えないでください。製品が落下または破損し、傷害の原因になる場合があります。Samsung では、不適切なネジを使用したこと、または、ウォール マウント キットまたはデスクトップ スタンドの取り付け時に過度な力を加えたことが原因で発生した損傷または傷害について、一切責任を負いません。
- Samsung では、指定以外のウォール マウント キットを使用したこと、または、ご自身でウォール マウント キットを取り付けようとしたことが原因で発生した製品の損傷または傷害について、一切責任を負いません。
- 製品を壁掛けにする場合には、壁から 10 cm 以上離して取り付け可能なウォール マウント キットをご購入ください。
- 規格に準拠したウォール マウント キットを使用してください。
- ウォール マウントを使用してモニターを設置する場合は、モニターからスタンド ベースを取り外します。

1.3.5 盗難防止用ロック

盗難防止用ロックで、公共の場所でも本製品を安心してご使用いただくことができます。ロック装置の形状およびロック方法は、メーカーによって異なります。詳細は、お使いの盗難防止用ロック装置に付属されたユーザーガイドを参照してください。ロック デバイスは別売りです。



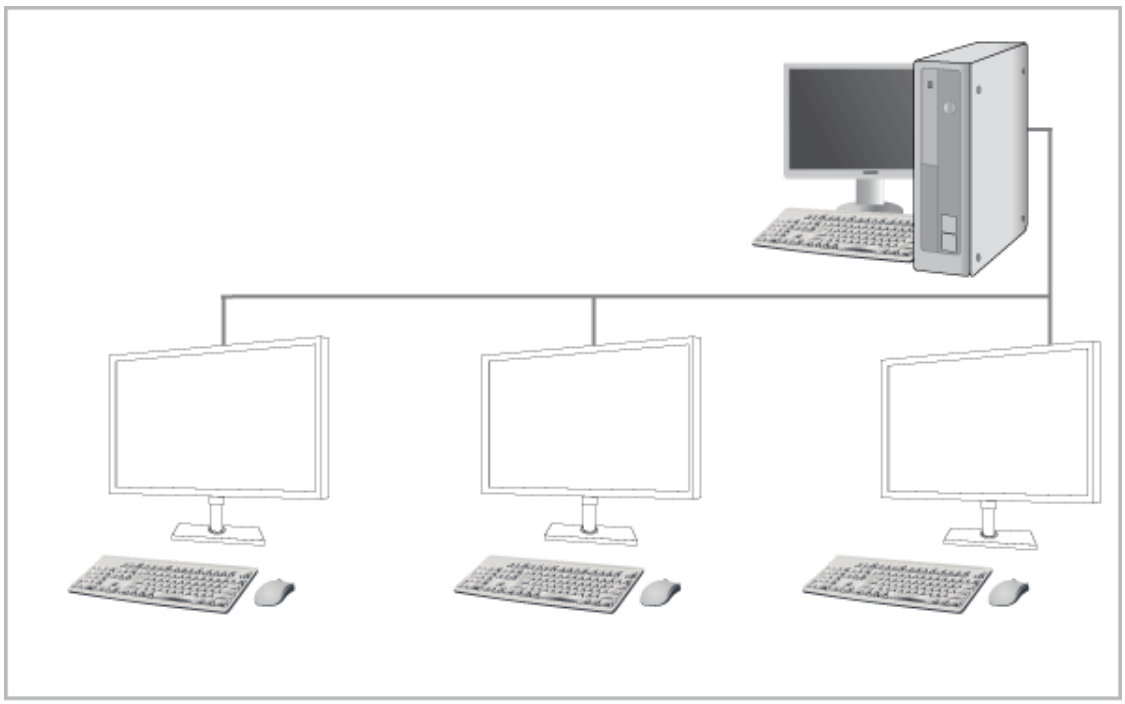
盗難防止用ロック装置のロック方法

1. 盗難防止用ロック装置のケーブルを、机などの重量物に固定します。
2. ケーブルの一方の端を、他方の端のループに通します。
3. ロック装置を、本製品の背面にある盗難防止用ロック装置用のスロットに挿入します。
4. ロック装置をロックします。

- 盗難防止用ロック装置は、別売です。
- 詳細は、お使いの盗難防止用ロック装置に付属されたユーザーガイドを参照してください。
- 盗難防止用ロック装置は、家電小売店やオンラインでご購入いただけます。

2 ″PCoIP″ の使用

2.1 ″PC over IP″とは?

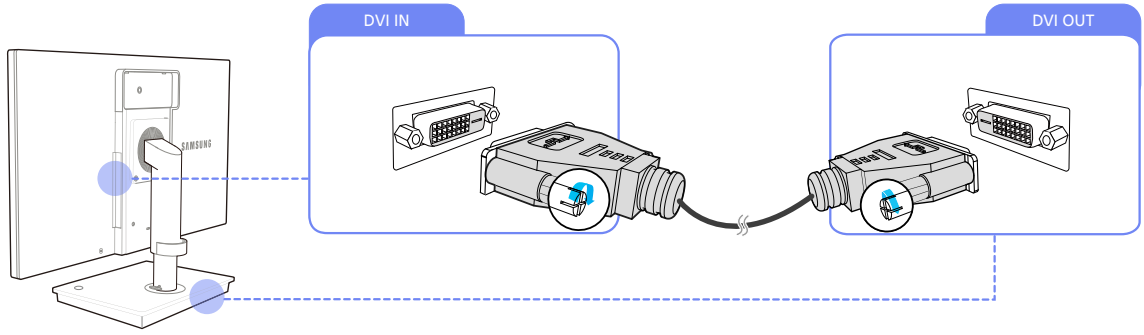


- このモニターは、エンコードされてネットワーク (LAN) 経由で送信されるサーバー PC の画面を表示するだけでなく、従来のモニターと同様にコンピュータの画面を表示します。このモニターは、通常の RDP よりもはるかに向上した性能を持っており、高画質のグラフィック作業に適した 1920*1080 ピクセルの解像度をサポートするように設計されています。
- このモニターでは、サーバー PC に接続し、インターネットにアクセスしてドキュメントの作成および画像の編集を行えるようにすることにより、セキュリティを強化することができます。これに加えて、新しいコンセプトのこのモニターではDSC、MP3、外部ストレージ デバイスなどの外部入力信号デバイスを USB ポートに接続することで、音楽やビデオの再生およびゲームを楽しむことができます。
- このモニターは、DVI OUT (RGB OUT)ポートを使ってデバイスを接続してネットワーク ディスプレイ画面を別の表示デバイスに表示することにより、ビデオ会議や共同作業などのさまざまな分野に活用することができます。

2 ″PCoIP″ の使用

2.2 ″PCoIP″を使用するための接続方法

2.2.1 DVI ケーブルを使用して接続していますか?



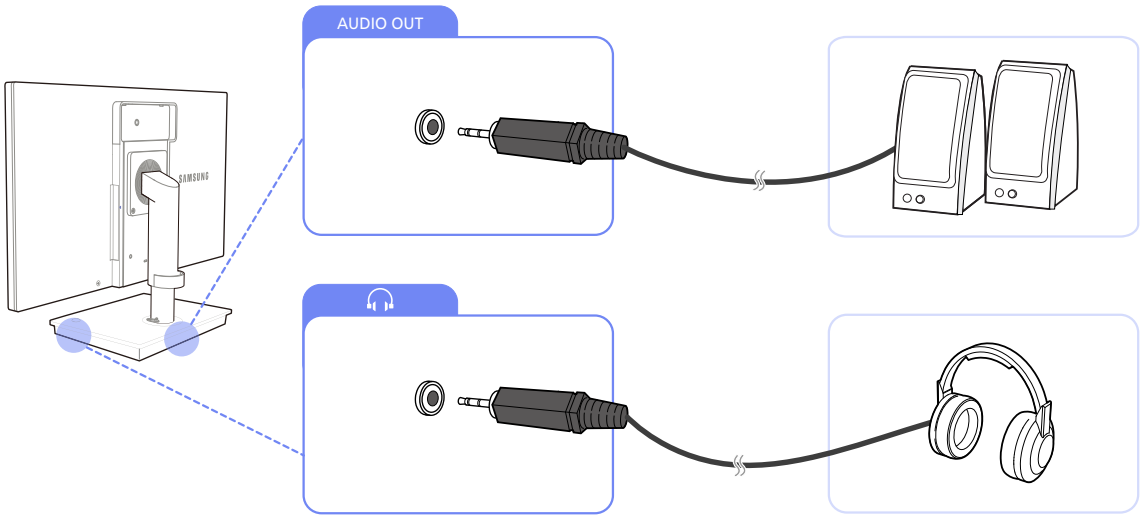
1 モニターの背面にある [DVI IN]とスタンド ベースの [DVI OUT] を DVI ケーブルで接続します。

2 DC 電源アダプタを製品とコンセントに接続します。次に、スタンド ベースの電源スイッチをオンにします。

(詳細については、″3.3 電源の接続″を参照してください。)

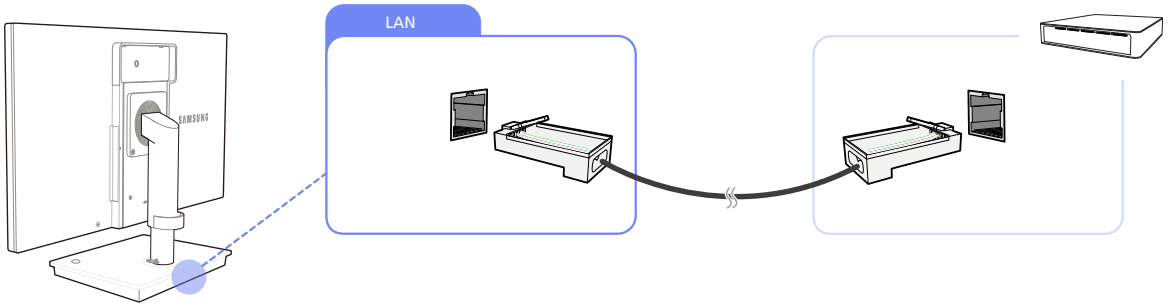
3 [⏎/⏎] を押して入力ソースを**デジタル**に変更します。.

2.2.2 ヘッドフォンの接続スピーカー



1 オーディオ出力デバイス（ヘッドフォンまたはスピーカー）をスタンド ベースの背面にある [AUDIO OUT] または右側にある[🎧]に接続します。

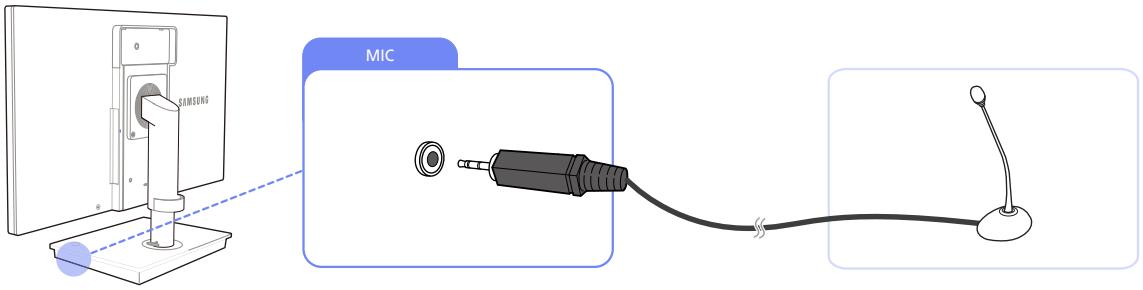
2.2.3 LANへの接続



1 スタンド ベースの背面にある[LAN]に LAN ケーブルを接続します。

ネットワーク速度が 10Mbps 以下の場合はサポートされません。

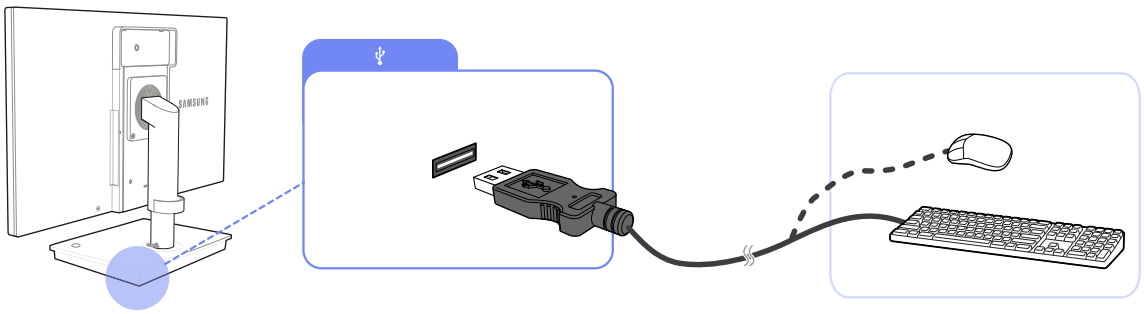
2.2.4 マイクの接続



1 スタンド ベースの右側にある[MIC]にマイクを接続します。

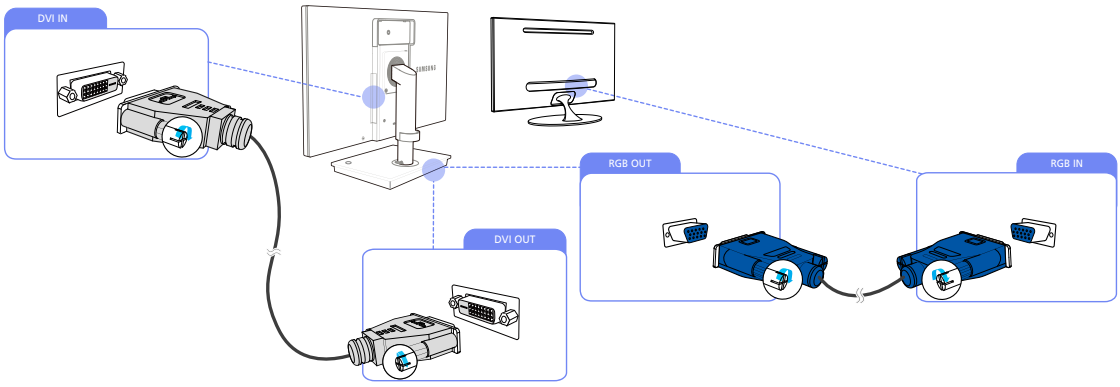
2.2.5 USB デバイスの接続

- [ψ] ポートは、USB 2.0 までの規格に対応しています。
- **VMware View 4.6** 以降が必要です。データ転送速度は、ネットワーク環境によって異なる場合があります。



1 USB デバイス（キーボード、マウスなど）をスタンド ベースの背面または右側にある [ψ] に接続します。

2.2.6 2 台目のモニターの接続



1 製品の背面にある[DVI IN]とスタンド ベースの [DVI OUT] を DVI ケーブルで接続します。

2 スタンド ベースの [RGB OUT] と 2 台目のモニターの[RGB IN] を D-SUB ケーブルで接続します。

3 DC 電源アダプタを製品とコンセントに接続します。次に、スタンド ベースの電源スイッチをオンにします。

(詳細については、″3.3 電源の接続″を参照してください。)

- [RGB OUT] ポートは、2 台目のモニターを接続する場合にのみ使用できます。
- スタンドからすべてのケーブルを取り外すと、モニターを PC に接続して PC モニターとして使用できます。

2 ″PCoIP″ の使用

2.3 ″PCoIP″

2.3.1 OSD (オンスクリーン ディスプレイ)

OSD (On Screen Display) のローカル GUI は、デバイスに電源が投入され PCoIP セッションが行われていないときに表示されます。

OSD は、接続画面からホスト デバイスに接続する機能を提供します。スタートアップ時にユーザーに対して接続画面が表示されます。

接続画面では、オプション ウィンドウにもアクセスすることができます。

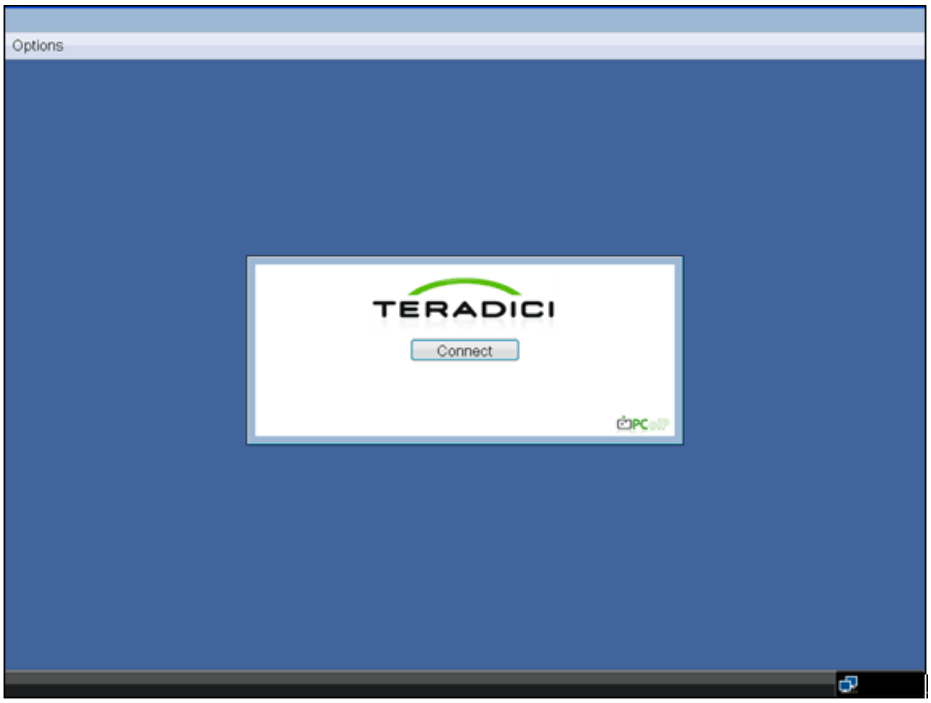
オプション ウィンドウは、接続画面の Options ボタンからアクセスすることができます。ポータルのオプションを変更するには、管理パスワードが必要です。

2.3.2 接続画面

接続画面は、スタートアップまたは自動再接続を管理するためのポータルが設定されている場合を除いて、スタートアップ時に表示されます。

Connect ボタンの上に表示されるロゴは、管理 Web インターフェイスから代わりの画像をアップロードすると変更できます。

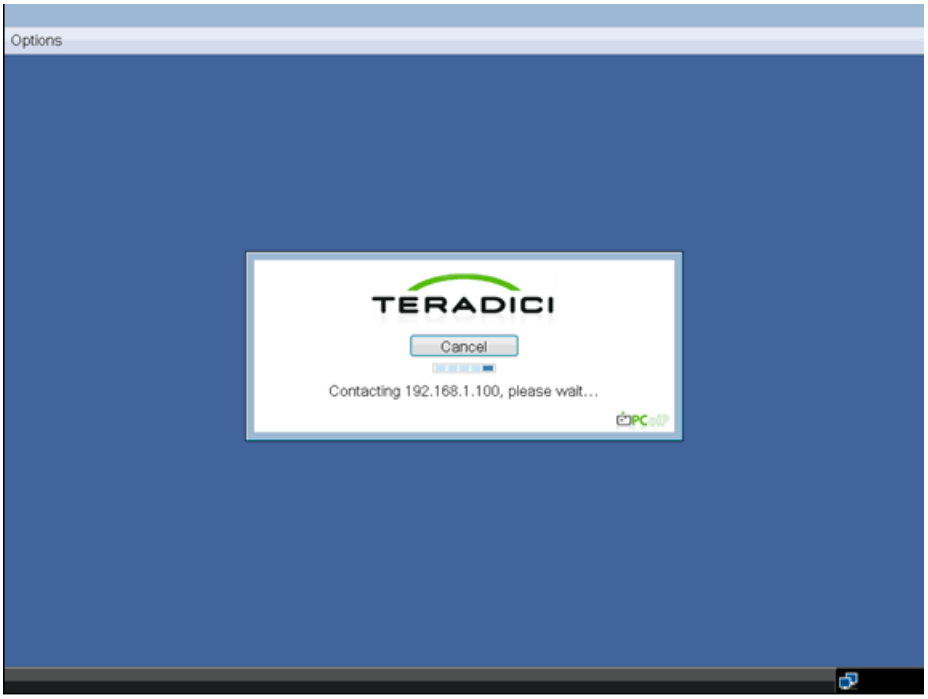
図 2-1:OSD 接続画面



Connect ボタン

接続ボタンを選択すると、セッション設定に応じて ″PCoIP″ または ″RDP″ セッションが開始されます。″PCoIP″ 接続が保留されているときは、OSD のローカル ″GUI″ が「Connection Pending」のメッセージを表示します。接続が確立されると、OSD のローカル GUI が消えてセッション イメージに切り替わります。

図 2-2:OSD 接続画面 (接続中)



2.3.3 OSD オプション メニュー

Options メニューを選択すると、選択リストが示されます。OSD の Options メニューには、以下の項目があります。

- Configuration
- Diagnostics
- Information
- User Settings
- Password

いずれかの選択肢を選択すると、設定ウィンドウが表示されます。

図 2-3:OSD オプション メニュー

2.3.4 Configuration ウィンドウ

Configuration ウィンドウでは、ポータルの動作と環境との相互作用の方法を定義するための設定を行うウィンドウ タブに管理者がアクセスできます。

Configuration ウィンドウには、以下のタブがあります。

- Network
- Label
- Connection Management
- Discovery
- Session

- RDP
- 言語
- OSD
- [リセット]
- VMware View

各タブには、管理者がそのタブ上で行った設定の変更を適用またはキャンセルするための OK、Cancel、Apply ボタンがあります。

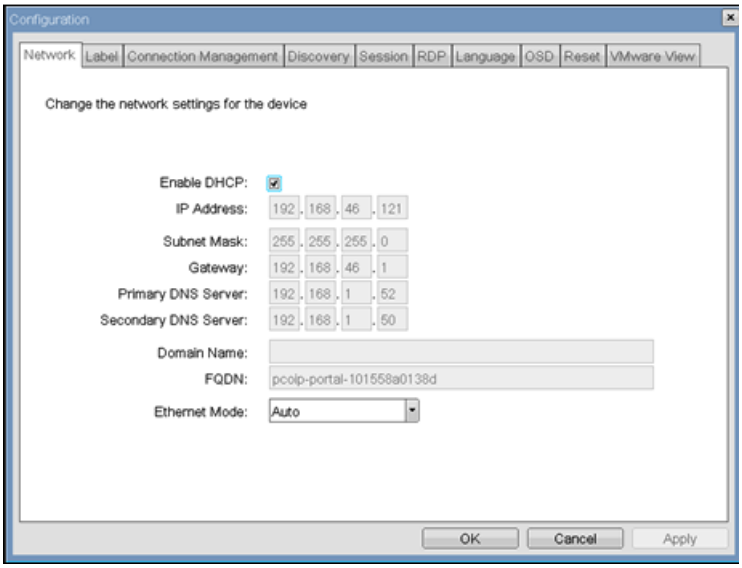
一部の ″PCoIP″ デバイスではパスワードによる保護が無効になっており、管理 Web ページにログインしたり OSD パラメータにアクセスしたりするのにパスワードが不要な場合があります。ログイン ページおよび OSD のパスワード保護は、″PCoIP″ 管理コンソールから有効にすることができます。

Network タブ

Network タブで、管理者はポータル ネットワークのパラメータを設定することができます。

ネットワーク パラメータも、Web ページ管理インターフェイスを使用して設定することができます。

図 2-4:Network 設定



- Enable DHCP

  Enable DHCP が有効になっているときには、デバイスは DHCP サーバーに問い合わせて、IP アドレス、サブネット マスク、ゲートウェイ IP アドレスおよび DNS サーバーの割り当てを受けます。無効になっているときには、デバイスでこれらのパラメータを主導で設定する必要があります。

- IP Address

  [IP アドレス] フィールドは、デバイスの IP address です。DHCP が無効になっている場合には、このフィールドは必須項目です。DHCP が有効になっている場合には、このフィールドは編集

不可になっています。このフィールドは有効な IP アドレスでなければならず、無効な IP アドレスが入力された場合には OSD が管理者に対して修正を求めるプロンプトを表示します。

- **Subnet Mask**

  Subnet Mask フィールドは、デバイスのサブネット マスクです。DHCP が無効になっている場合には、このフィールドは必須項目です。DHCP が有効になっている場合には、このフィールドは編集不可になっています。このフィールドは有効なサブネット マスクでなければならず、無効なサブネット マスクが入力された場合には OSD が管理者に対して修正を求めるプロンプトを表示します。

- **Gateway**

  [ゲートウェイ] フィールドは、デバイスの Gateway です。DHCP が無効になっている場合には、このフィールドは必須項目です。DHCP が有効になっている場合には、このフィールドは編集不可になっています。

- **Primary DNS Server**

  Primary DNS Serverフィールドは、デバイスのプライマリ DNS IP アドレスです。このフィールドはオプションです。DHCP が有効になっている場合には、このフィールドは編集不可になっています。

- **Secondary DNS Server**

  Secondary DNS Server フィールドは、デバイスのセカンダリ DNS IP アドレスです。このフィールドはオプションです。DHCP が有効になっている場合には、このフィールドは編集不可になっています。

- **Domain Name**

  Domain Name は、「domain.local」などのような使用されているドメイン名です。このフィールドはオプションです。このフィールドは、ホストまたはポータルがオンになっているドメインを指定します。

- **FQDN**

  FQDN は、ホストまたはポータルの FQDN (Fully Qualified Domain Name) です。デフォルトは pcoip-host-MAC または pcoip-portal-MAC となり、MAC の部分はホストまたはポータルの MAC アドレスになります。使用する場合は、pcoip-host-MAC.domain.local のようにドメイン名が付け加えられます。

- **Ethernet Mode**

  Ethernet Mode フィールドでは、ポータルの Ethernet モードの設定を行います。オプションは以下の通りです。

  - [自動]
  - 100 Mbps Full-Duplex
  - 10 Mbps Full-Duplex

  管理者は、たとえばスイッチなどのネットワーク機器が 10 Mbps Full-Duplex または 100 Mbps Full-Duplex で動作するように設定されているときには、常に Ethernet Mode を Auto に設定し

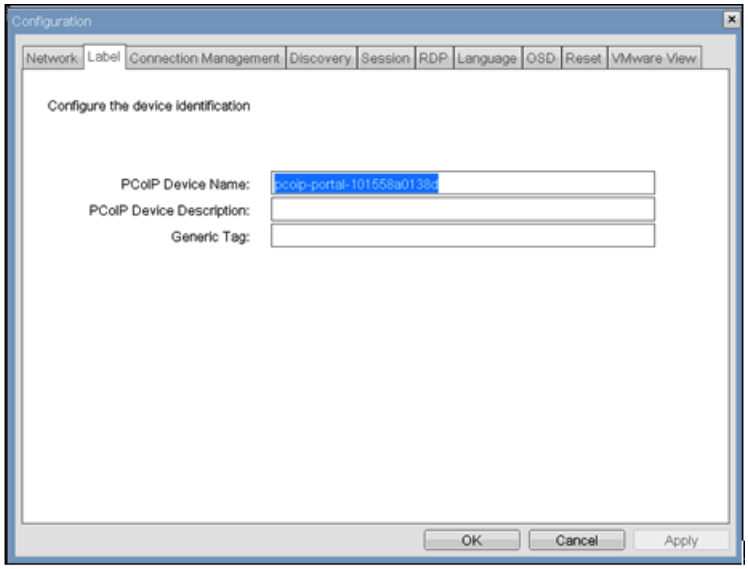
て 10 Mbps Full-Duplex または 100 Mbps Full-Duplex のみを使用するようにする必要があります。

Label タブ

Label タブでは、管理者がホストまたはポータルのカスタム情報を追加することができます。

ポータル ラベル パラメータも、Web ページ管理インターフェイスを使用して設定することができます。

図 2-5:Label 設定



- **PCoIP Device Name**

  PCoIP Device Name で管理者がホストまたはポータルに論理名を指定できるようになっている場合。デフォルトは pcoip-host-MAC または pcoip-portal-MAC となり、MAC の部分はホストまたはポータルの MAC アドレスになります。

- **PCoIP Device Description**

  PCoIP Device Description では、管理者がエンドポイントの場所などの説明や詳細情報をホストまたはポータルに付けることができます。

- **Generic Tag**

  Generic Tag では、管理者がホストまたはポータルにジェネリック タグ情報を与えることができます。

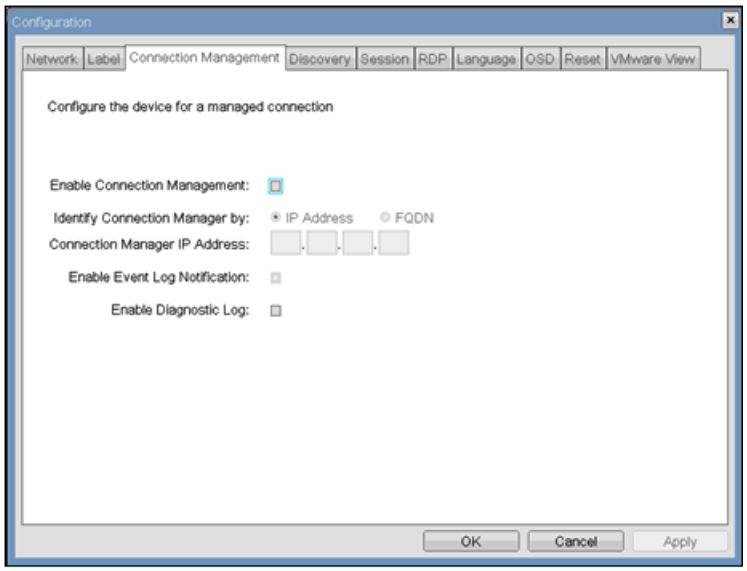
Connection Management タブ

Connection Management タブでは、接続管理の有効または無効を切り替えることができ、接続マネージャの IP アドレスを指定します。

管理対象の接続では、外部の Connection Managerment サーバーが通信を行い、リモートからデバイスの制御および設定を行うことができます。さらに、接続マネージャはデバイスの接続先となる適切なピアを特定し、接続を開始することができます。Connection management により、大規模で複雑なシステムの管理が大幅に簡単になります。

接続管理パラメータも、Web ページ管理インターフェイスを使用して設定することができます。

図 2-6:Connection Management 設定



- Enable Connection Management

  Enable Connection Management オプションが有効になっている場合には、外部の接続マネージャによりデバイスの設定および制御を行うことができます。

- **Identify Connection Manager By**

  Identify Connection Manager By セレクタにより、管理者は接続マネージャを **IP address** で接続するか、FQDN (Fully Qualified Domain Name) で識別するかを選択することができます。接続管理が無効になっている場合には、このフィールドは必須ではなく編集不可になります。

  表 2-1 は、それぞれの方法を選択したときに使用できる設定パラメータを示しています。無効な IP アドレスまたは DNS 名が入力されると、OSD が管理者に対して修正を促すプロンプトを表示します。

表 2-1:接続マネージャの方法

方法	データ フィールド
IP Address	接続マネージャの IP アドレス
FQDN	接続マネージャの DNS 名

- **Enable Event Log Notification**

  Enable Event Log Notification フィールドは、PCoIP ホストおよびポータル デバイスがイベント ログの内容を接続管理サーバーに送信するかどうかを制御します。

- **Enable Diagnostic Log**

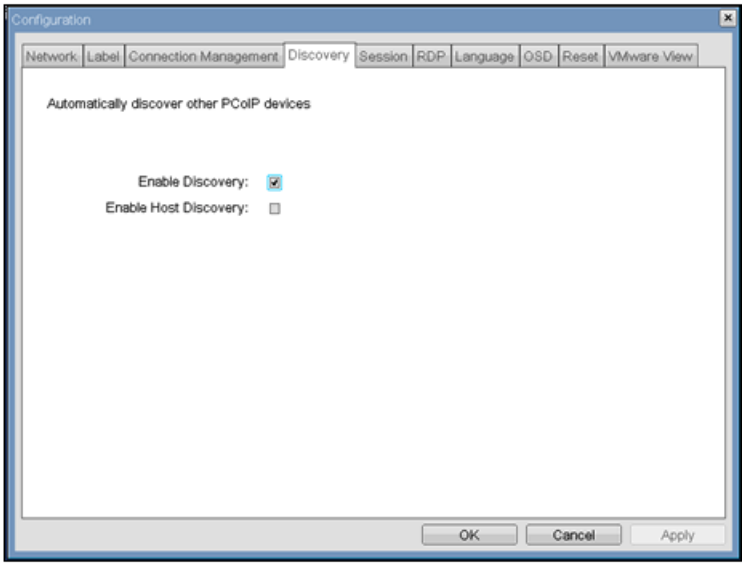
  Enable Diagnostic Log フィールドは、接続管理固有のデバッグ メッセージを PCoIP ホストおよびポータル デバイスのイベント ログに書き込むかどうかを制御します。

Discovery タブ

Discovery 設定タブでは、PCoIP システム内のポータルを発見しやすくする機能を利用することができます。

ディスカバリ パラメータも、Web ページ管理インターフェイスを使用して設定することができます。

図 2-7:Discovery 設定



- **Enable Discovery**

  Enable Discovery オプションが有効になっている場合には、デバイスは SLP ディスカバリを使用してピア デバイスを動的に発見し、デバイスが事前にネットワーク内における自身の一を知っておく必要はありません。これによって、複雑なシステムにおける設定およびメンテナンスの労力を劇的に軽減することができます。

  SLP ディスカバリはマルチキャストを許可するように設定されているルーターを必要とし、したがって DNS-SRV ディスカバリが推奨されるディスカバリ メカニズムとなります。

- **Enable Host Discovery**

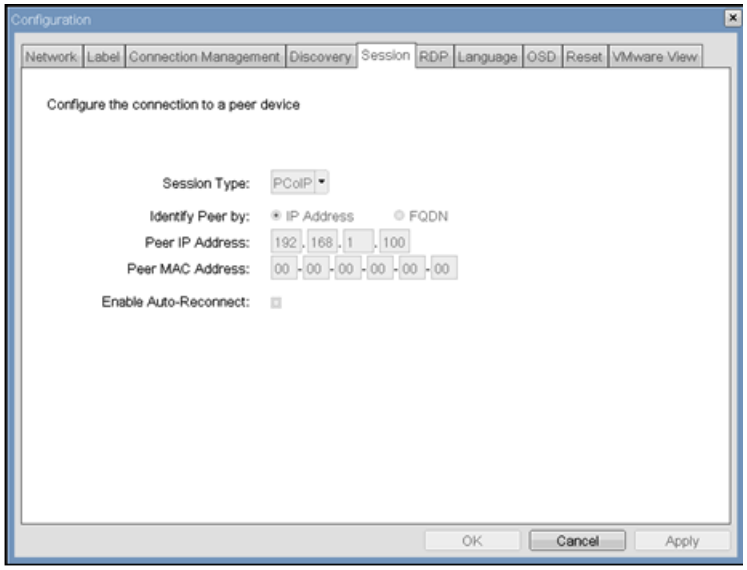
  Enable Host Discovery 機能により、ポータルは PCoIP セッション内にないホストを発見することができます。有効になっているときには、ポータルは最大 10 台までの利用可能なホストを発見した順に表示することができます。Enable Host Discovery 機能は、ホストの数が少数のときに使用するためのものです。

Session タブ

Session タブでは、デバイスがピア デバイスに接続する方法を管理者が設定できます。

セッション パラメータも、Web ページ管理インターフェイスを使用して設定することができます。

図 2-8:Session 設定



- **Session Type**

  Session Type では、PCoIP セッションまたは RDP セッションのポータルを管理者が設定することができます。

- **Identify Peer By**

  Identify Peer By セレクタにより、管理者は接続マネージャを IP アドレスと MAC アドレスで識別するか、FQDN (Fully Qualified Domain Name) で識別するかを選択することができます。

  表 2-2 は、それぞれの方法を選択したときに使用できるピア識別パラメータを示しています。無効な IP アドレスまたは DNS 名が入力されると、OSD が管理者に対して修正を促すプロンプトを表示します。

表 2-2:ピア識別方法

ピア識別方法	データ フィールド	コメント
ピアの IP/MAC	ピアの IP Address	PCoIP
	ピアの MAC アドレス	PCoIP
ピアの FQDN	ピアの FQDN	PCoIP

- **Enable Auto-Reconnect**

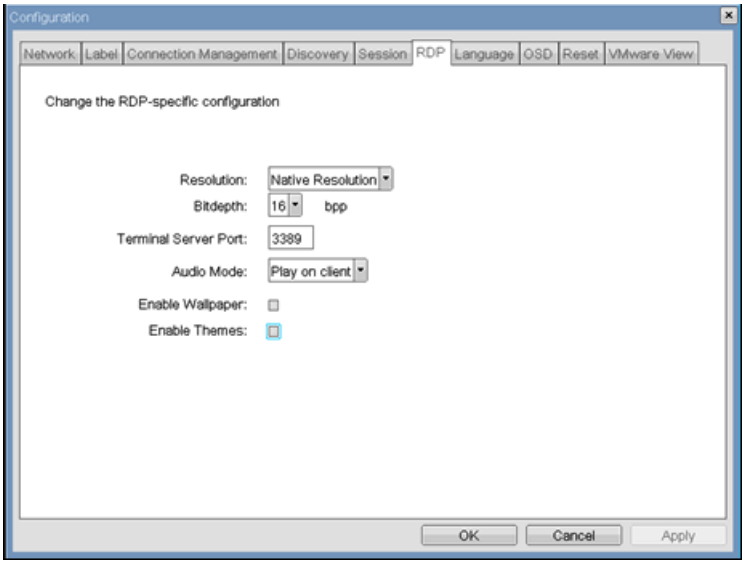
  Enable Auto-Reconnect オプションにより、セッションが失われたときにポータルは最後に接続していたホストに自動的に再接続することができます。

RDP

RDP タブでは、管理者が RDP (Remote Desktop Protocol) 固有の設定を行うことができます。

RDP パラメータも、Web ページ管理インターフェイスを使用して設定することができます。

図 2-9:RDP 設定



Resolution

Resolution フィールドは、RDP 画面の解像度設定です。以下の値を使用できます。

- Native Resolution
- 800x600
- 1024x768
- 1280x768
- 1280x1024
- 1440x900
- 1600x1200
- 1680x1050
- 1920x1080
- 1920x1200

Bit Depth

Bit Depth は、RDP セッションの色ビット深度です。以下の値を使用できます。

- 8 bpp (ピクセル当たりのビット数)
- 16 bpp
- 24 bpp

Terminal Server Port

Terminal Server Port フィールドは、RDP クライアントが接続するポート番号を設定します。

Audio Mode

Audio Mode フィールドは、RDP セッションで音声再生が行われる場所を設定します。以下のオプションを使用できます。

- None
- Play on client
- Play on host

Enable Wallpaper

Enable Wallpaper フィールドでは、RDP セッションで壁紙を使用できるようにします。

Enable Themes

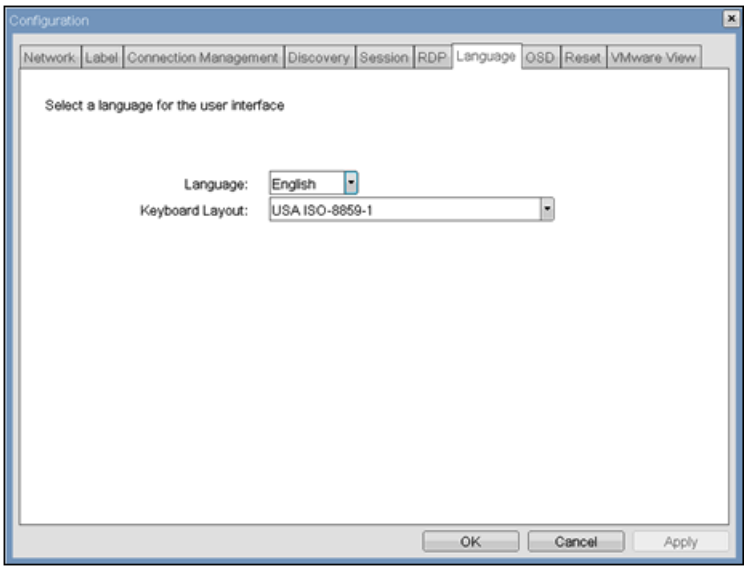
Enable Themes フィールドでは、RDP セッションでデスクトップ テーマを使用できるようにします。

Language タブ

Language フィールドでは、管理者が OSD の言語を設定することができます。

言語パラメータも、Web ページ管理インターフェイスを使用して設定することができます。

図 2-10:Language 設定



言語

Language フィールドを使用して、画面上の表示およびイベント ログ メッセージの言語を設定することができます。

Keyboard Layout

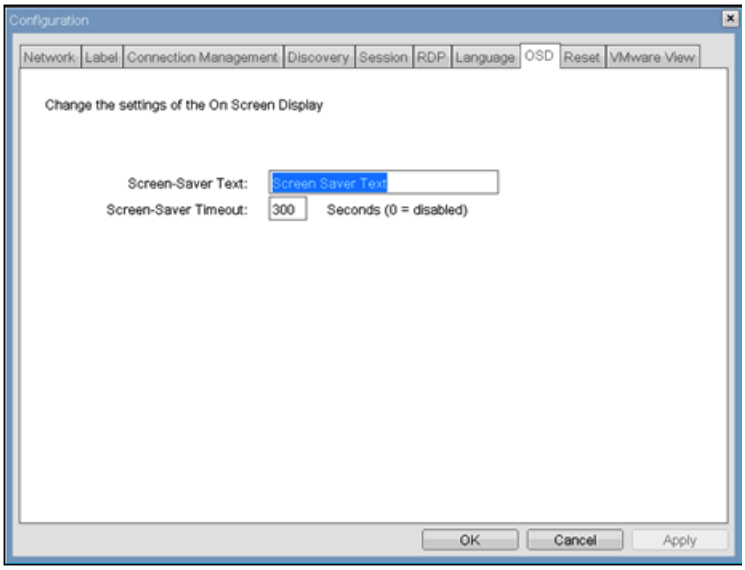
Keyboard Layout フィールドでは、管理者がキーボードのレイアウトを変更することができます。

OSD タブ

OSD タブでは、管理者が OSD (On Screen Display) パラメータを変更できます。

OSD パラメータも、Web ページ管理インターフェイスを使用して設定することができます。

図 2-11:OSD 設定



Screen-Saver Message

Screen-Saver Message フィールドでは、管理者が OSD のスクリーンセイバーのテキストを変更できます。テキストは最大 240 文字となります。

スクリーンセイバーは、単純な黒の画面にスクリーンセイバー テキストをランダムに表示します。

Screen-Saver Timeout

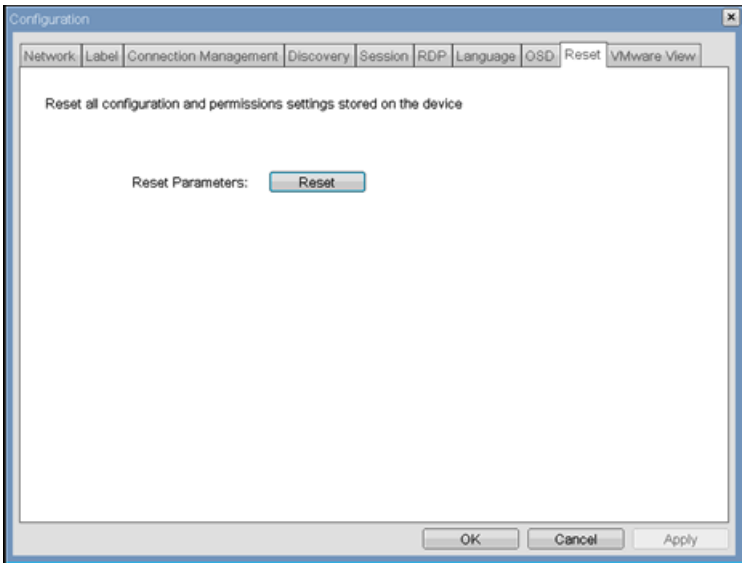
Screen-Saver Timeout フィールドでは、管理者が OSD のスクリーンセイバーのタイムアウトを設定することができます。タイムアウトは秒単位で設定し、最大 9999 秒となります。0 秒に設定すると、スクリーンセイバーを無効にします。

Reset タブ

Reset タブでは、管理者がフラッシュ内に格納されているすべての設定パラメータをリセットすることができます。

リセットも、Web ページ管理インターフェイスを使用して開始することができます。

図 2-12:[リセット]



Reset Parameters

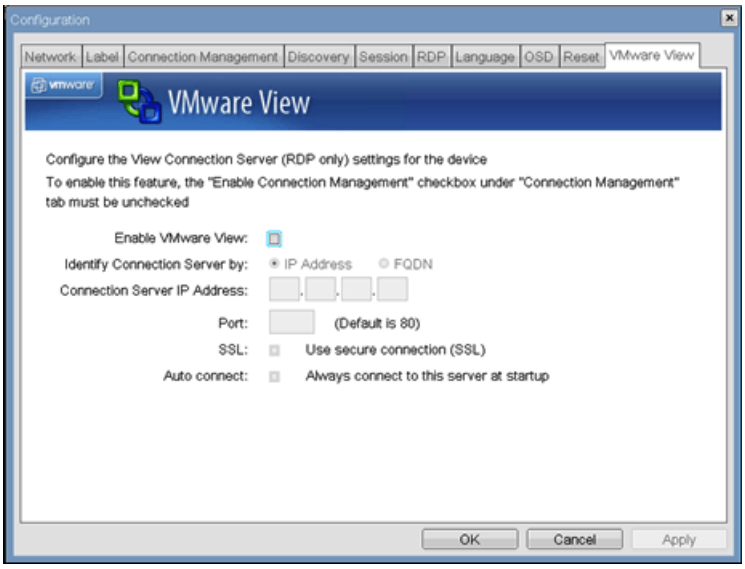
Reset Parameters Reset ボタンは、すべての設定とパーミッションを工場出荷時のデフォルト設定にリセットします。

VMware View タブ

VMware View タブでは、VMware View Connection Server を使用するための設定を行うことができます。

VMware View パラメータも、Web ページ管理インターフェイスを使用して設定することができます。

図 2-13:VMware View 設定



Enable VMware View

Enable VMware View オプションを有効にすると、VMware View Connection Server を使用するようにポータルを設定することができます。

VMware View 機能を有効にするには、Enable Connection Management タブで Connection Management チェックボックスのチェックを外す必要があります。

Identify Connection Server by

Identify Connection Server by セレクタにより、管理者は接続マネージャを IP アドレスで接続するか、FQDN (Fully Qualified Domain Name) で識別するかを選択することができます。VMware View が無効になっている場合には、このフィールドは必須ではなく編集不可になります。

Port

Port パラメータにより、管理者が VMware View Connection Server との通信に使用するポートを指定することができます。

SSL

SSL パラメータにより、管理者が VMware View Connection Server との通信に使用する SSL ポートを指定することができます。

Auto connect

Auto connect パラメータでは、ポータルがスタートアップ時に VMware View Connection Server と必ず接続するよう管理者が指定することができます。

2.3.5 Diagnostics ウィンドウ

Diagnostics では、管理者がポータルに関連する診断を行うウィンドウ タブにアクセスすることができます。Diagnostics ウィンドウには、以下のタブがあります。

- Event Log
- Session Statistics
- PCoIP Processor
- Ping

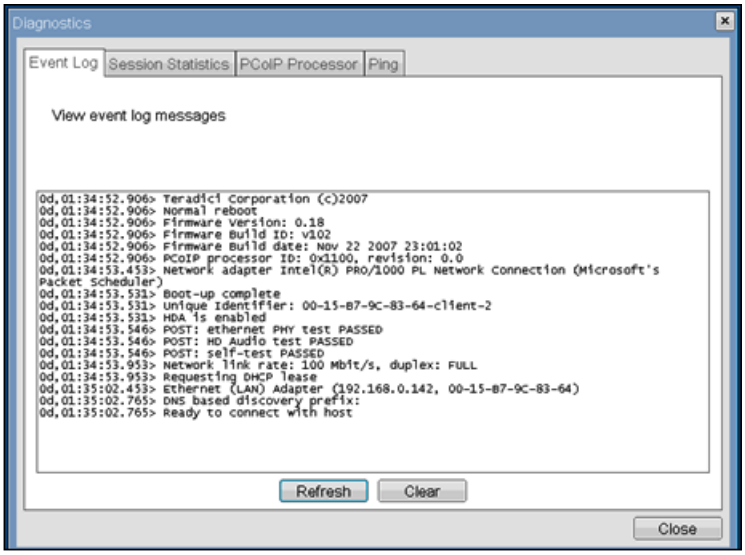
各タブには、ウィンドウを閉じるために [閉じる] ボタンがあります。

Event Log タブ

Event Log タブでは、管理者がポータルからのイベント ログ メッセージの表示およびクリアを行うことができます。

Event Log は、いずれも Web ページ管理インターフェイスを使用して開始することができます。

図 2-14:Event Log


Diagnostics
Event Log
Session Statistics
PCoIP Processor
Ping
View event log messages
0d,01:34:52.906> Teradici Corporation (c)2007
0d,01:34:52.906> Normal reboot
0d,01:34:52.906> Firmware Version: 0.18
0d,01:34:52.906> Firmware Build ID: v102
0d,01:34:52.906> Firmware Build Date: Nov 22 2007 23:01:02
0d,01:34:52.906> PCoIP processor ID: 0x1100, revision: 0.0
0d,01:34:53.453> Network adapter Intel(R) PRO/1000 PL Network Connection (Microsoft's Packet Scheduler)
0d,01:34:53.531> Boot-up complete
0d,01:34:53.531> Unique Identifier: 00-15-B7-9C-83-64-client-2
0d,01:34:53.531> HDA is enabled
0d,01:34:53.546> POST: ethernet PHY test PASSED
0d,01:34:53.546> POST: HD Audio test PASSED
0d,01:34:53.546> POST: self-test PASSED
0d,01:34:53.953> Network link rate: 100 Mbit/s, duplex: FULL
0d,01:34:53.953> Requesting DHCP lease
0d,01:35:02.453> Ethernet (LAN) Adapter (192.168.0.142, 00-15-B7-9C-83-64)
0d,01:35:02.765> DNS based discovery prefix:
0d,01:35:02.765> Ready to connect with host
Refresh
Clear
Close

View event log message

View event log messages フィールドには、ログ メッセージがタイム スタンプ情報とともに表示されます。関連して 2 つのボタンが使用できます。

- **更新**

  Refresh ボタンを選択すると、表示されるイベント ログ メッセージが更新されます。

- **Clear**

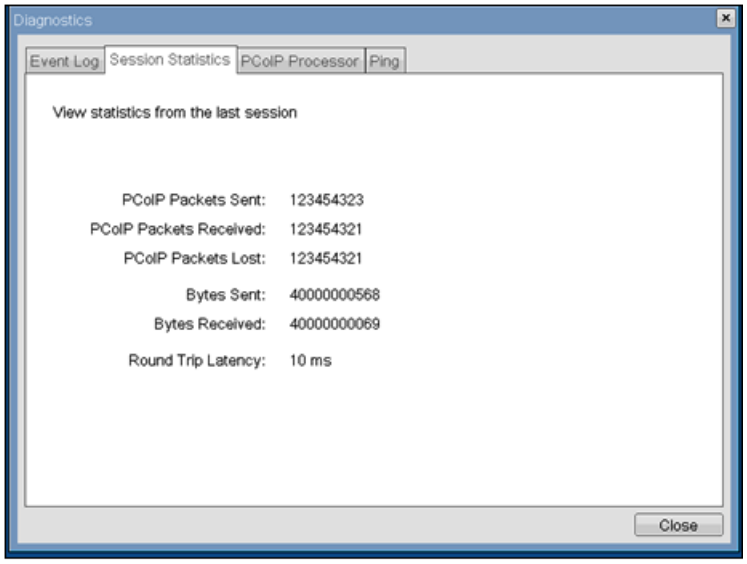
  Clear ボタンを選択すると、表示されているイベント ログ メッセージをすべてクリアします。

Session Statistics タブ

Session Statistics タブでは、管理者がポータル上でアクティブとなっていた直近の PCoIP セッションについての PCoIP ごとの統計を表示することができます。

Session Statistics も、Web ページ管理インターフェイスを使用して表示することができます。

図 2-15:**Session Statistics**



PCoIP Packets Statistics

- **PCoIP Packets Sent**

  PCoIP Packets Sent フィールドは、直近のアクティブなセッションでポータルからホストに送信された PCoIP パケットの総数を示します。

- **PCoIP Packets Received**

  PCoIP Packets Received フィールドは、直近のアクティブなセッションでポータルからホストに送信された PCoIP パケットの総数を示します。

- **PCoIP Packets Lost**

  PCoIP Packets Lost フィールドは、直近のアクティブなセッションで失われた PCoIP パケットの総数を示します。

Bytes Statistics

- **Bytes Sent**

  Bytes Sent フィールドは、直近のアクティブなセッションで送信された総バイト数を示します。

- **Bytes Received**

  Bytes Received フィールドは、直近のアクティブなセッションで受信された総バイト数を示します。

Round Trip Latency

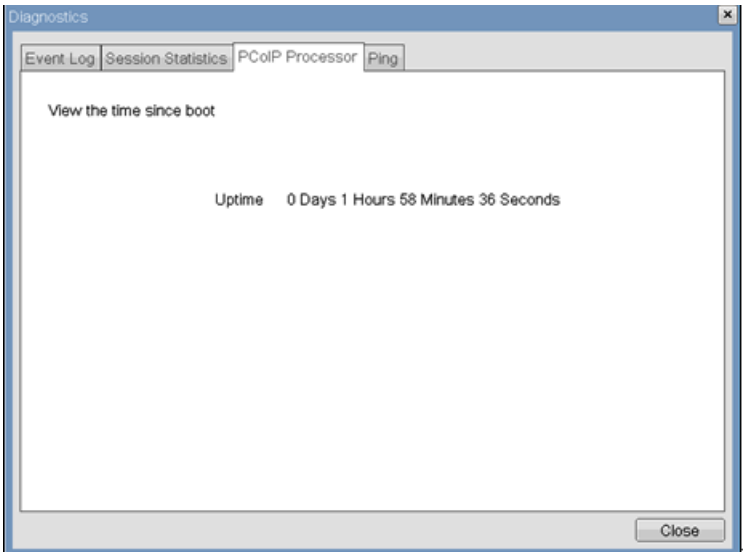
Round Trip Latency フィールドは、PCoIP システムの総ラウンドトリップ (たとえばポータルからホストへ行き、ホストに戻る)とネットワーク遅延 (+/- 1 ms) をミリ秒単位で示します。

PCoIP Processor タブ

PCoIP Processor タブでは、ポータルの PCoIP プロセッサが直近に起動されてからのアップタイムを管理者に対して示します。

PCoIP Processor アップタイムは、Web ページ管理インターフェイスでも表示できます。

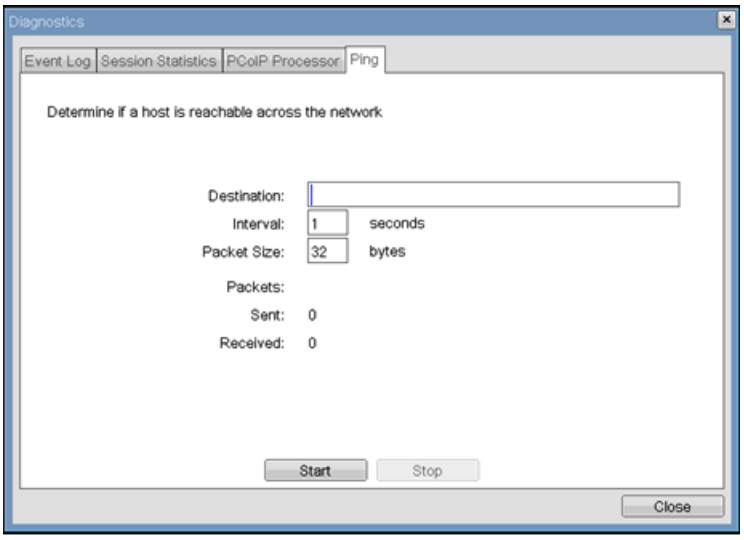
図 2-16:**PCoIP Processor**



Ping タブ

Ping タブでは、管理者がデバイスに ping を送信し、IP ネットワークを介して到達できるかを確認することができます。これは、ホストに到達できるかどうかを判断するのに便利です。

図 2-17:Ping



Ping 設定

- **Destination**
  ping 先の IP アドレスまたは FQDN
- **Interval**
  ping パケットの間隔
- **Packet Size**
  ping パケットのサイズ

パケット

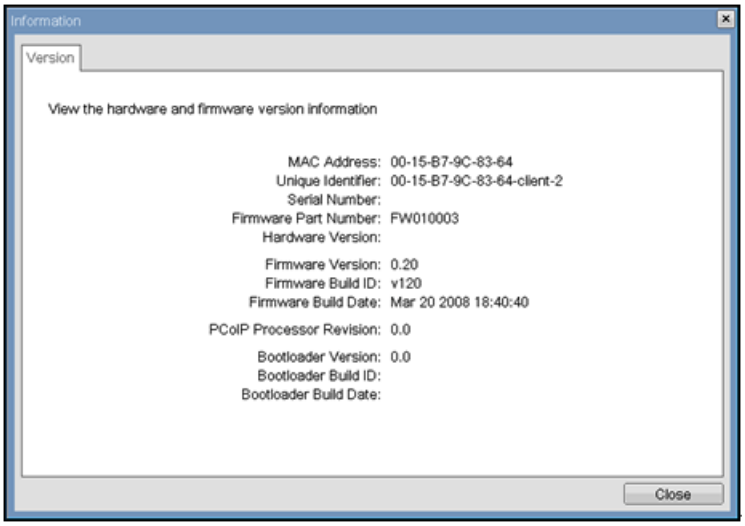
- **Sent**
  送信された ping パケット数
- **Received**
  受信した ping パケット数

2.3.6 Information ウィンドウ

Information ウィンドウでは、デバイスの情報を格納している Version タブに管理者がアクセスできます。

バージョン情報も、Web ページ管理インターフェイスを使用して表示することができます。

図 2-18:Version



VPD 情報

VPD (Vital Product Data) は、各ポータルまたはホストに工場で一意に割り当てられた情報です。

- MAC Address
  ポータルの一意な MAC address
- Unique Identifier
  ポータルの一意な識別子
- Serial Number
  ポータルの一意なシリアル番号
- Firmware Part Number
  PCoIP ファームウェアの部品番号
- Hardware Version
  ポータルのハードウェア バージョン番号

ファームウェア情報

Firmware Information は、現在の PCoIP ファームウェアの詳細情報を反映します。

- Firmware Version
  現在の PCoIP ファームウェアのバージョン
- Firmware Build ID
  現在の PCoIP ファームウェアのリビジョン コード
- Firmware Build Date
  現在の PCoIP ファームウェアのビルド日付

PCoIP Processor Revision

PCoIP Processor Revision リビジョン フィールドは、PCoIP プロセッサのリビジョン コードを表示します。TERA1x00 Revision A silicon は 0.0 を示し、TERA1x00 Revision B silicon は 1.0 を示します。

ブートローダー情報

ブートローダ情報は、現在の PCoIP ブートローダの詳細を反映しています。

- **Bootloader Version**
  現在の PCoIP ブートローダのバージョン
- **Bootloader Build ID**
  現在の PCoIP ブートローダのリビジョン コード
- **Bootloader Build Date**
  現在の PCoIP ブートローダのビルド日付

2.3.7 User Settings ウィンドウ

User Settings ウィンドウでは、マウスおよびキーボードの設定、および PCoIP 画像の品質を定義するウィンドウ タブにユーザーがアクセスできます。

User Settings メニューには、以下のタブがあります。

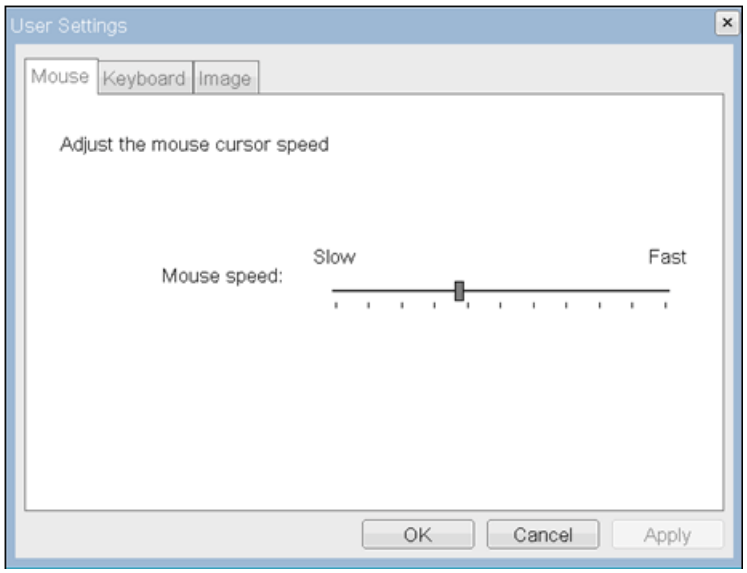
- Mouse
- Keyboard
- Image

Mouse タブ

Mouse タブでは、ユーザーが OSD および RDP セッションのマウス カーソル速度設定を変更することができます。

OSD のマウス カーソルの速度設定は、ローカル キーボード ホスト ドライバの機能を使用していない限り、PCoIP セッションがアクティブなときのマウス カーソルの設定には影響を与えません（詳細についてはPCoIP ホスト ソフトウェア ユーザー ガイドを参照してください）。

図 2-19:Mouse



- Mouse Speed

  Mouse Speed フィールドでは、ポータルのマウス カーソルの速度を設定することができます。

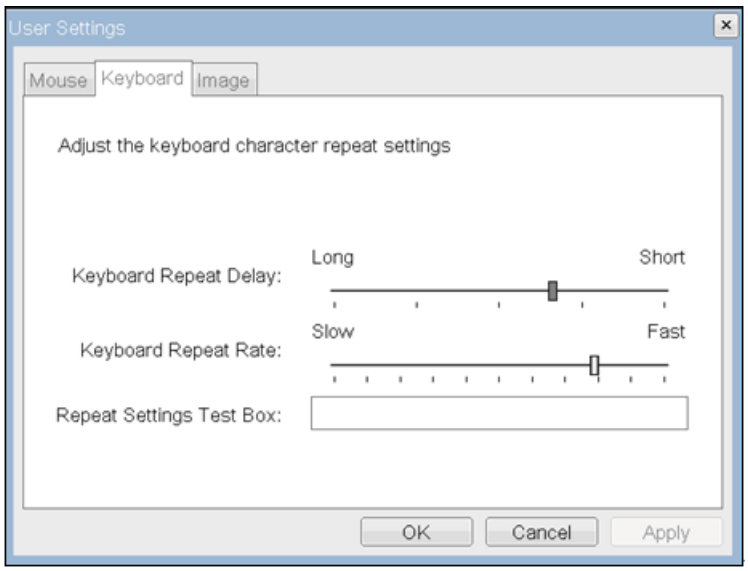
  Mouse Speed は、PCoIP ホスト ソフトウェアでも設定することができます。PCoIP ホスト ソフトウェアの使用の詳細については、PCoIP ホスト ソフトウェア ユーザー ガイドを参照してください。

Keyboard タブ

Keyboard タブでは、ユーザーが OSD および RDP セッションにおけるキーボード リピート設定を変更できます。

OSD のキーボード設定は、ローカル キーボード ホスト ドライバの機能を使用していない限り、PCoIP セッションがアクティブなときのキーボード設定には影響を与えません (詳細については PCoIP ホスト ソフトウェア ユーザー ガイドを参照してください)。

図 2-20:Keyboard



- **Keyboard Repeat Delay**

  Keyboard Repeat Delay フィールドでは、ユーザーがポータルのキーボード リピート遅延を設定できます。

- **Keyboard Repeat Rate**

  Keyboard Repeat Rate フィールドでは、ユーザーがポータルのキーボード リピート速度を設定できます。

- **Repeat Settings Test Box**

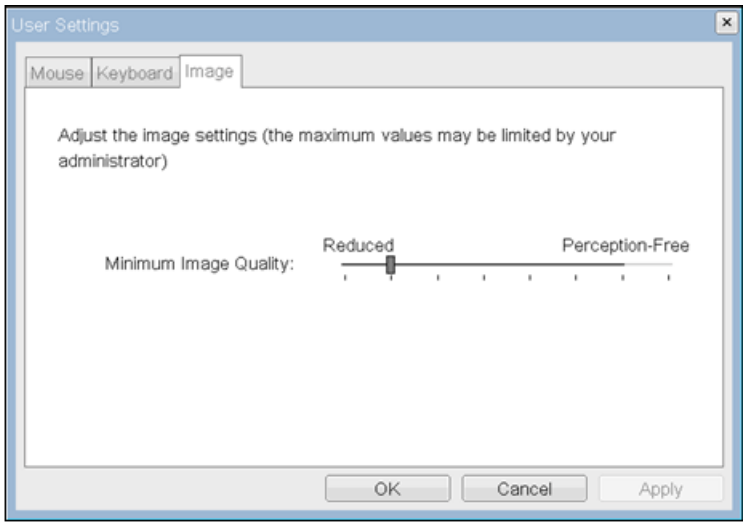
  Repeat Settings Test Box フィールドでは、ユーザーが選択したキーボードの設定をテストすることができます。

Image

Image タブでは、ユーザーが PCoIP システム上の画像設定を変更できます。

画像パラメータも、Web ページ管理インターフェイスを使用して設定することができます。

図 2-21:Image



- Minimum Image Quality

  Minimal Image Quality スライダで、ユーザーがネットワークの帯域幅が限られているときの画質とフレーム レートとのバランスをとることができます。使用状況によっては、高いフレーム レートで低い画質を、もしくは低いフレーム レートで高い画質を選択する必要があります。

  ネットワーク帯域幅が制限されていて画質が低下する場合には、スライダを Reduced の方に動かします。

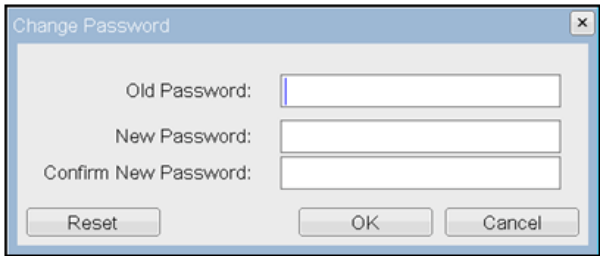
  ネットワークの帯域幅が制限されていない場合には、PCoIP システムは Minimum Image Quality の設定と無関係に perception-free の画質を維持します。

2.3.8 Password ウィンドウ

Password ウィンドウでは、管理者がデバイスの管理パスワードを更新することができます。これは Web インターフェイスとローカルの OSD GUI に影響することに注意してください。

- パスワードを忘れるとポータルが使用できなくなる場合があるため、ポータル パスワードをアップデートするときには注意が必要です。
- パスワードも、Web ページ管理インターフェイスを使用して更新することができます。
- 一部の PCoIP デバイスではデフォルトでパスワードが無効になっており、この Password ウィンドウが使用できない場合があります。パスワード保護は、PCoIP 管理コンソールから有効にすることができます。

図 2-22:Change Password



- Old Password

  変更を有効にするには、Old Password フィールドが現在の管理パスワードに一致しなければなりません。

- New Password

  New Password フィールドは、Web インターフェイスとローカルの OSD GUI の両方の新しい管理パスワードとなります。

- Confirm New Password

  変更を有効にするには、Confirm New Password フィールドが New Password フィールドに一致しなければなりません。

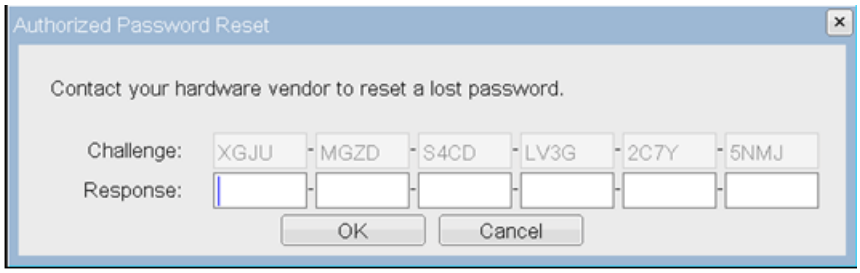
- [リセット]

  ポータルのパスワードがわからなくなった場合には、Reset ボタンを使用して管理者がベンダーに回答コードを問い合わせることができます。チャレンジ コードをベンダーに送信することができます。ベンダーは問い合わせについて確認し、承認が下りた場合には回答コードを返信します。

  回答コードが正しく入力されると、ポータルのパスワードが空文字列にリセットされ、管理者に対して新たなパスワードを入力するよう求めるプロンプトが表示されます。

パスワードのリセットに関する認証が必要な場合の詳細については、ポータルのベンダーにお問い合わせください。

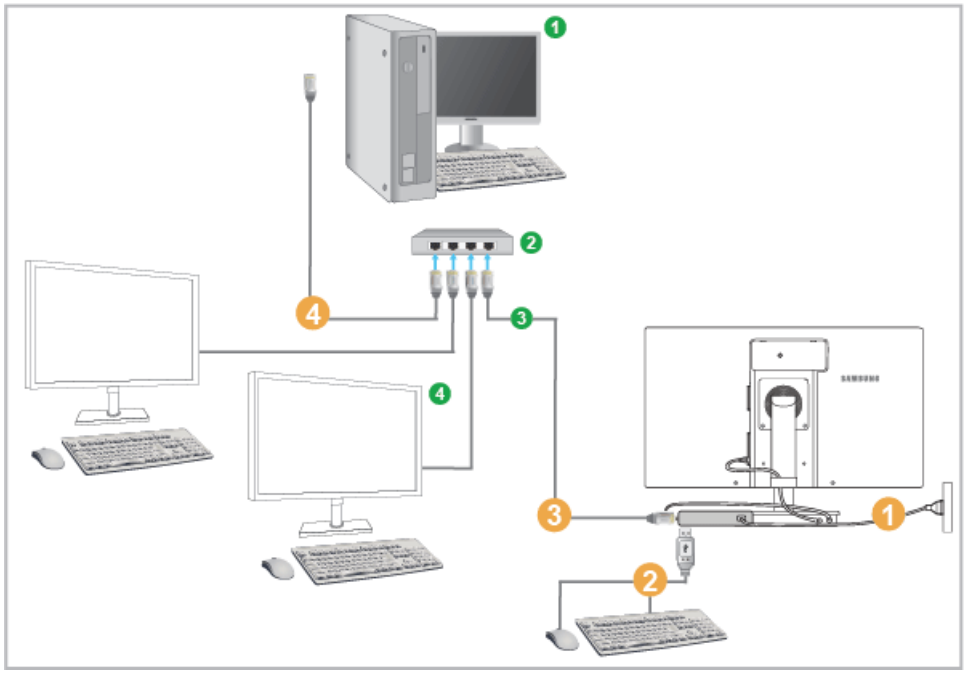
図 2-23:Authorized Password Reset



PCoIP の使用法に関する説明は変更されることがあります。最新の情報については、Teradici 社の Web サイト (http://www.teradici.com) をご確認ください。

2 ″PCoIP″ の使用

2.4 LANケーブルを使用してホストPCに接続する



1 ホストPC　2 ハブ　3 LAN ケーブル　4 モニター

1. 電源コードをモニター背面の電源端子に接続します。
2. いずれかのUSBポートにマウスとキーボードを接続します。
3. モニター背面のLANポートとハブを接続します。
4. ハブとホストPCのLANポートを接続します。

ホストPCにはIPアドレスが割り当てられている必要があります。

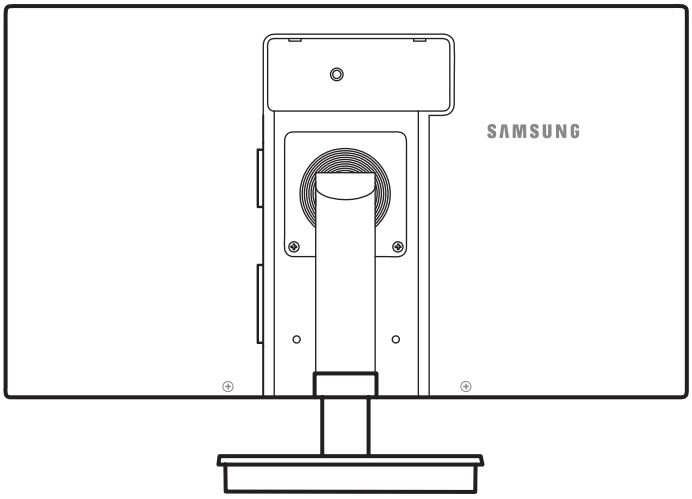
LANの接続とIPアドレスの設定が完了したら、ホストPCの画面をモニター上に表示することができるようになります。

USBポートを使用して、外部機器（DSC、MP3、外部記憶装置など）を接続します。

多数のクライアント デバイスを 1 台のホスト PC に接続できるのは、vmware のような仮想化ソリューションがホスト PC にインストールされている場合のみに限られます。

3 入力信号デバイスの接続と使用

3.1 接続の前に



3.1.1 接続前のチェックポイント

- 入力信号デバイスを接続する前に、各デバイスに付属するユーザーマニュアルをお読みください。

  入力信号デバイスのポートの位置および数は、デバイスによって異なる場合があります。
- すべての接続作業が完了するまで、電源ケーブルを接続しないでください。

  接続作業中に電源ケーブルを接続すると、製品を損傷する場合があります。
- 接続する製品の背面にあるポートのタイプを確認します。

3 入力信号デバイスの接続と使用

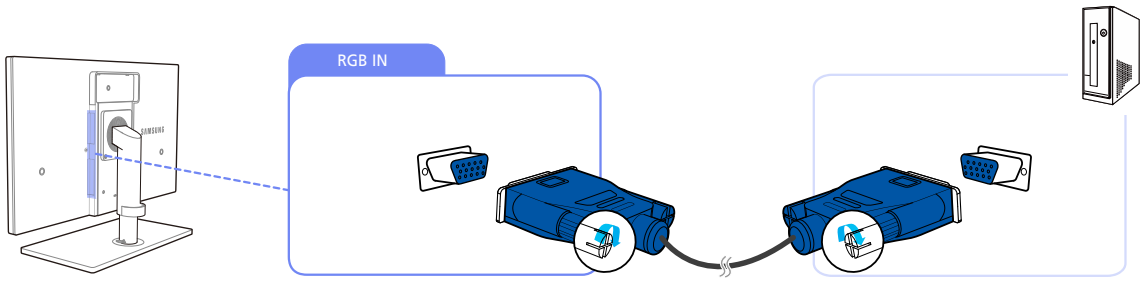
3.2 PC の接続と使用

3.2.1 PC との接続

- 電源ケーブルは、他のケーブル類をすべて接続した後に接続してください。
  ソース機器は電源ケーブルを接続する前に接続してください。
- お使いの PC に適した接続方法を選んでください。

接続用部品は、製品によって異なる場合があります。

D-SUB ケーブルを使用した接続 (アナログタイプ)



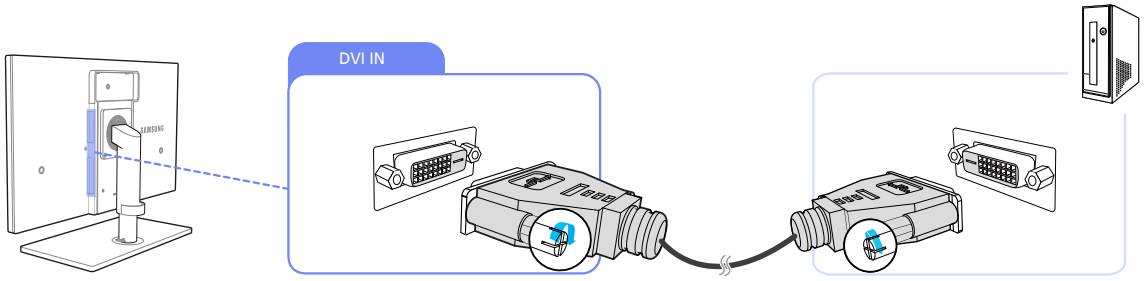
1 製品の背面にある [RGB IN] ポートと PC の RGB ポートを D-SUB ケーブルで接続します。

2 DC 電源アダプタを製品本体と電源ソケットに接続し 次に、PC ベースの電源スイッチをオンにします。
(詳細については、"3.3 電源の接続" を参照してください。)

3 [⏎/↵]を押して入力ソースを **アナログ** に変更します。

PC と製品本体を [D-SUB] ポートで接続している場合、オーディオは使用できません。

DVI ケーブルを使用して接続する



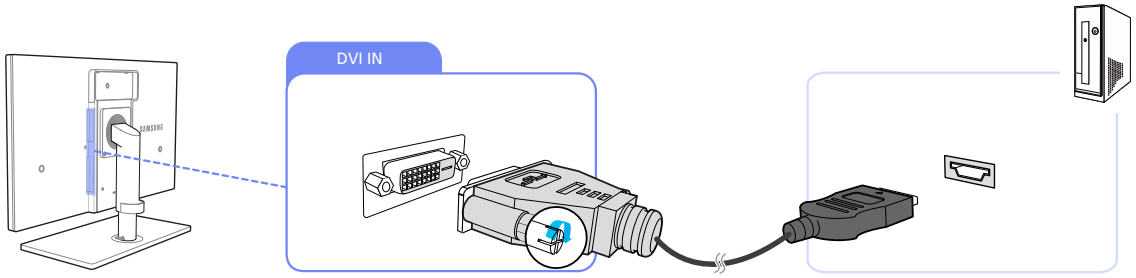
1 製品の背面にある [DVI IN] ポートと PC の DVI ポートを DVI ケーブルで接続します。

2 DC 電源アダプタを製品本体と電源ソケットに接続し 次に、PC ベースの電源スイッチをオンにします。
(詳細については、"3.3 電源の接続" を参照してください。)

3 [⏎/↵]を押して入力ソースを **デジタル** に変更します。

[DVI] ポートを経由で PC と製品を接続している場合、音声は使用できません。

HDMI-DVI ケーブルを使用した接続



1 製品の背面にある [DVI IN] ポートと PC の HDMI ポートを DVI ケーブルで接続します。

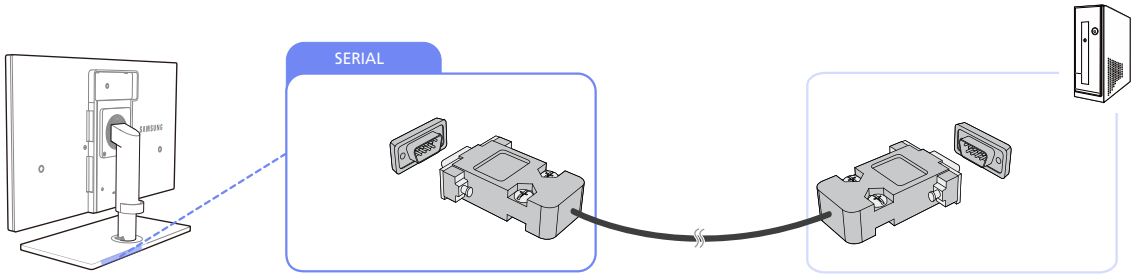
2 DC 電源アダプタを製品本体と電源ソケットに接続し 次に、PC ベースの電源スイッチをオンにします。

(詳細については、"3.3 電源の接続" を参照してください。)

3 [⏎/⏎]を押して入力ソースを **デジタル** に変更します。

[DVI] ポートを経由で PC と製品を接続している場合、音声は使用できません。

シリアル ケーブルを使用した接続



1 製品の背面にある[SERIAL]と PC の[SERIAL]を RS-232C ケーブルで接続します。

2 DC 電源アダプタを製品本体と電源ソケットに接続し 次に、PC ベースの電源スイッチをオンにします。

(詳細については、"3.3 電源の接続" を参照してください。)

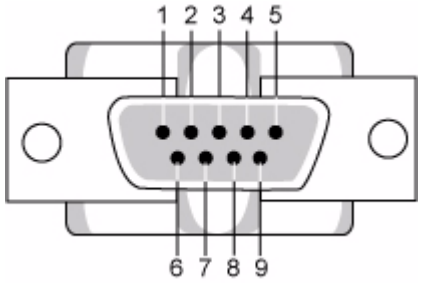
RS-232C 接続 (インターフェイス) をサポートしているデバイスを接続することができます。

3.2.2 リモコン (RS232C)

ケーブル接続

インターフェイス	RS232C(9 ピン)
ピン	TxD(No.2) RxD(No.3) GND(No.5)
ビット レート	9600 bps
データ ビット	8 ビット
パリティ	なし
ストップ ビット	1 ビット
フロー制御	なし
最大長	15 m (シールド タイプのみ)

- ピン配置



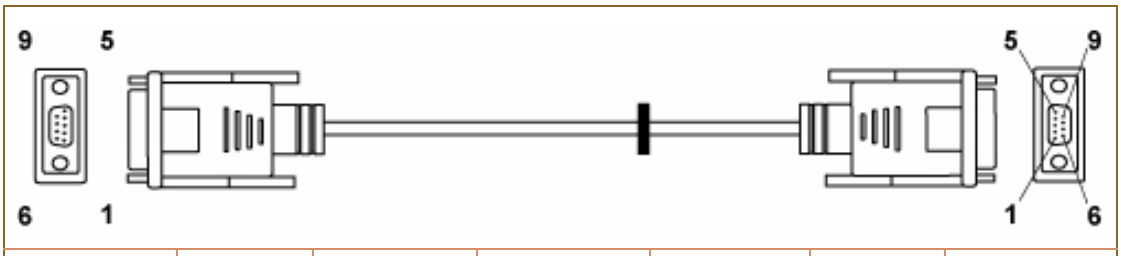
ピン	信号
1	データ キャリア検出
2	受信データ
3	送信データ
4	データ端末レディ
5	信号グラウンド
6	データ セット レディ
7	送信要求
8	送信準備完了
9	リング インジケータ

3 入力信号デバイスの接続と使用

- RS232C ケーブル

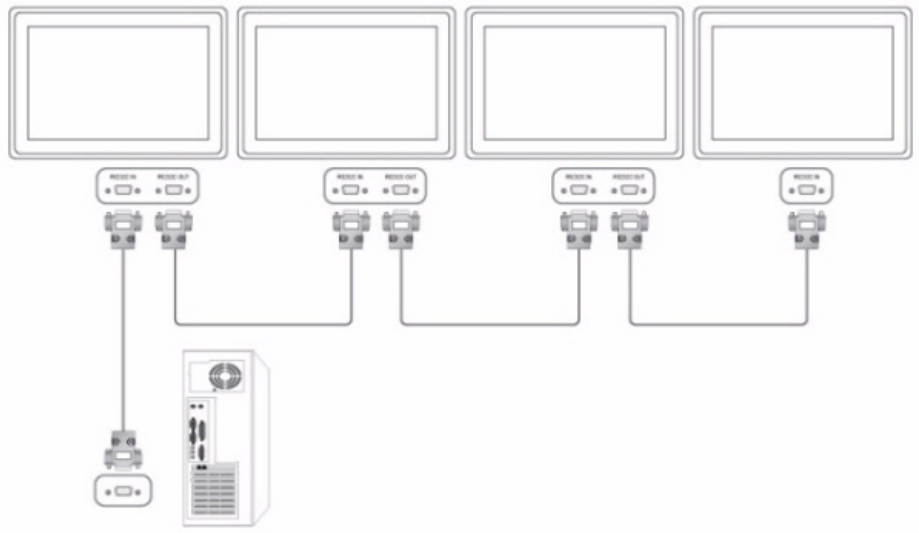
  コネクタ:9 ピン D-Sub

  ケーブル:クロス ケーブル



-P1-		-P1-		-P2-		-P2-
メス	Rx	2	---------->	3	Tx	メス
	Tx	3	<----------	2	Rx	
	Gnd	5	----------	5	Gnd	

- 接続方法



3.2.3 "Windows Driver" のインストール

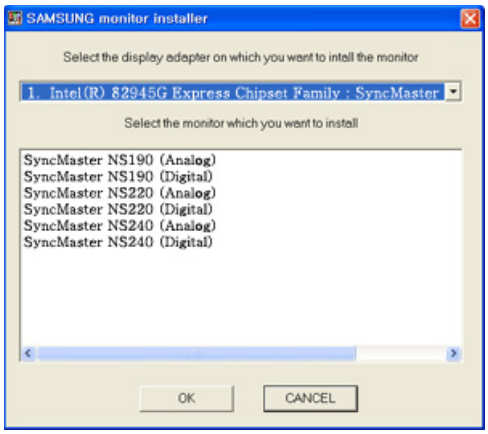
- 適切なドライバをインストールすることで、製品の最適な解像度および周波数を設定することができます。
- インストール用のドライバは、製品に付属している CD に含まれています。
- 提供された "Windows Driver" ファイルに問題がある場合は、Samsung のホームページ (http://www.samsung.com) からファイルをダウンロードしてください。

1 製品に付属するユーザーマニュアル CD を、CD-ROM ドライブに挿入します。

2 "Windows Driver"をクリックします。

3 画面上に表示される手順に従って、インストールを行います。

4 モデルの一覧からご使用のモデルを選択します。



5 [画面のプロパティ] に移動して、適切な解像度とリフレッシュ レートになっていることを確認します。

詳細は、Windows OS のマニュアルを参照してください。

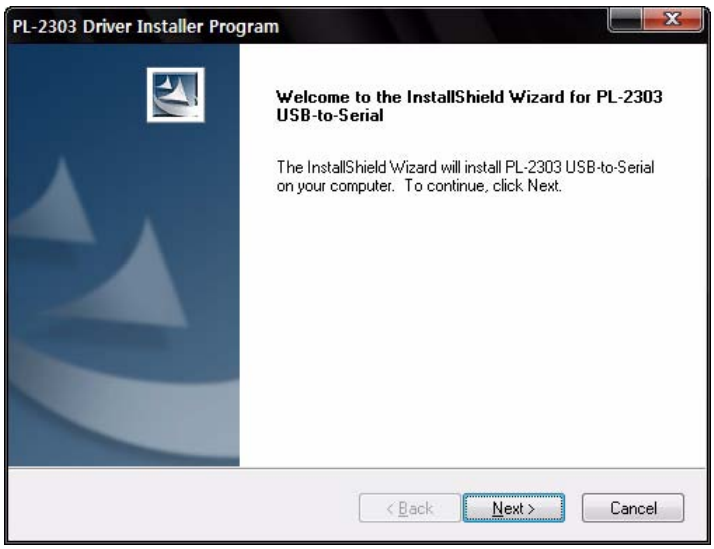
3.2.4 USB-to-Serial ドライバのインストール

サーバー PC にドライバをインストールします。

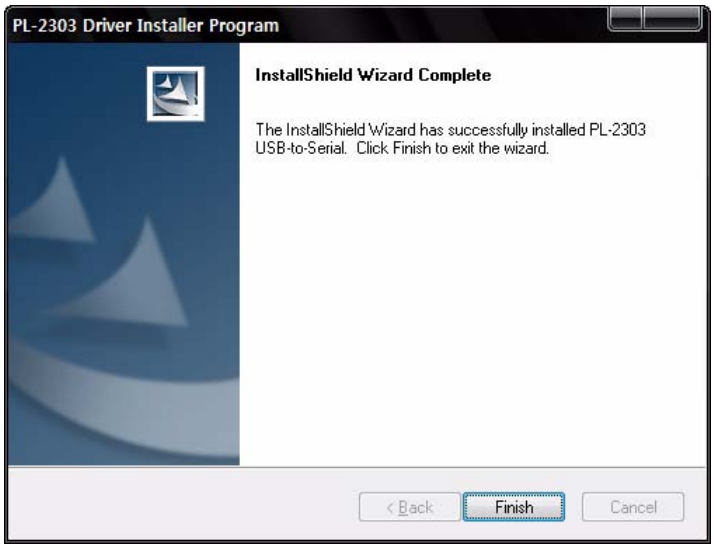
1 ドライバのインストール CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。

2 “USB-SERIAL Driver” をクリックします。

3 “Next” をクリックします。


PL-2303 Driver Installer Program
Welcome to the InstallShield Wizard for PL-2303 USB-to-Serial
The InstallShield Wizard will install PL-2303 USB-to-Serial on your computer. To continue, click Next.
< Back
Next >
Cancel

4 “Finish” をクリックします。


PL-2303 Driver Installer Program
InstallShield Wizard Complete
The InstallShield Wizard has successfully installed PL-2303 USB-to-Serial. Click Finish to exit the wizard.
< Back
Finish
Cancel

3.2.5 最適な解像度の設定

購入後に製品の電源を初めてオンにすると、最適な解像度設定についての通知メッセージが表示されます。

言語を選択し、解像度を最適な値に変更します。

1 [▲/▼]を押して該当する言語に移動し、[⊏/↵] を押します。

2 通知メッセージを非表示にするには、[MENU]を押します。

- 最適な解像度が選択されていない場合には、電源を一度オフにしてから再度オンにした場合でも、このメッセージが一定期間、最大 3 回表示されます。
- 最適な解像度は、PC の**コントロール パネル**で選択することもできます。

3.2.6 PC を使用した解像度の変更

- PC のコントロール パネルで、解像度とリフレッシュ レートを調整して、最適な画質にします。
- 最適な解像度を選ばないと、TFT-LCD の画質が低下する場合があります。

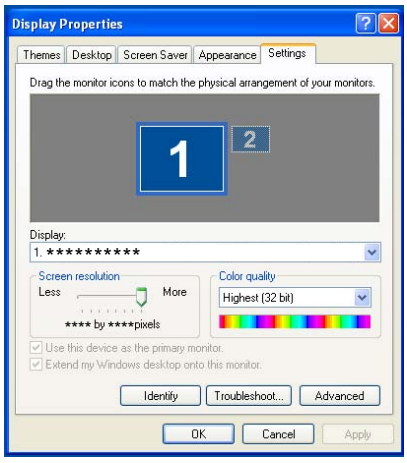
Windows XP での解像度の変更

コントロール パネル → **画面** → **設定**に移動して、解像度を変更します。

1

2

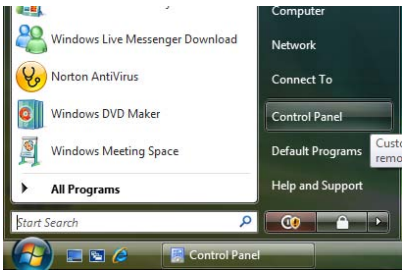
3



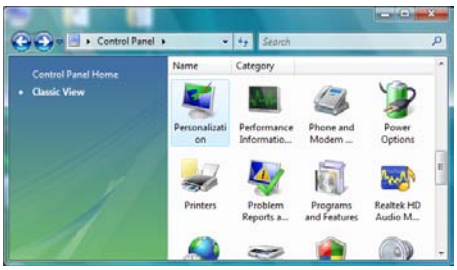
Windows Vista での解像度の変更

コントロール パネル → **個人設定** → **画面の設定**に移動して、解像度を変更します。

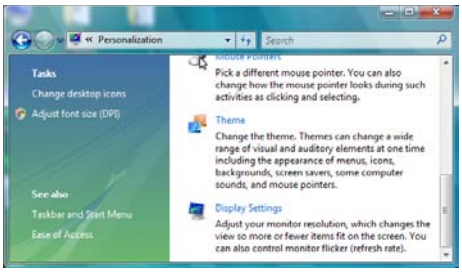
1



2



3

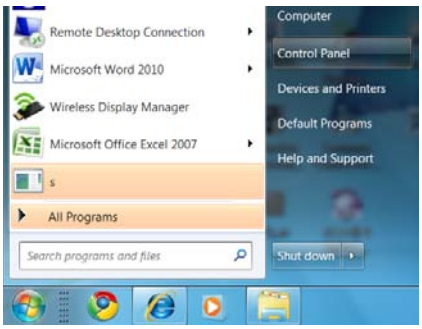


4

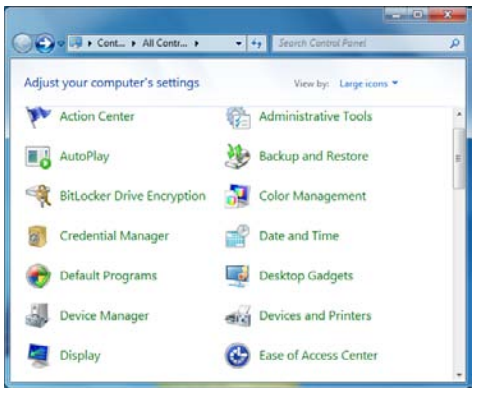
Windows 7 での解像度の変更

コントロール パネル → **画面** → **画面の解像度**に移動して、解像度を変更します。

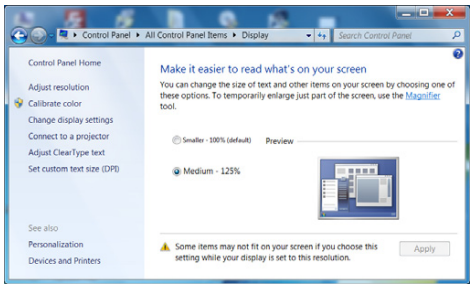
1



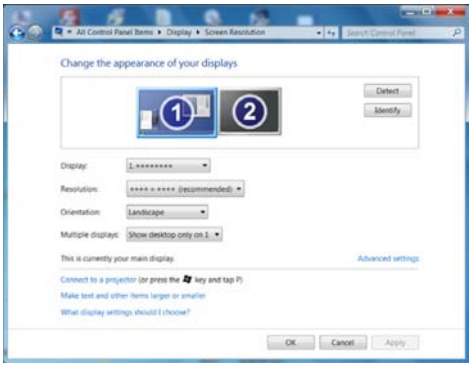
2



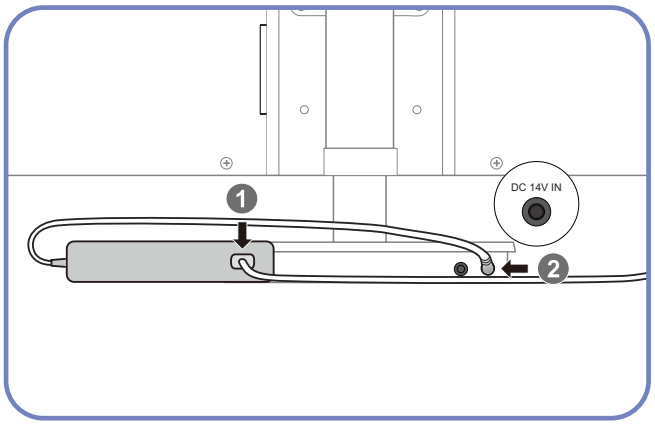
3



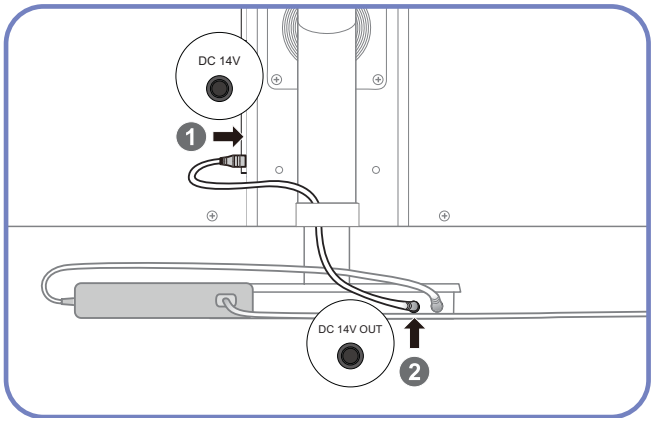
4



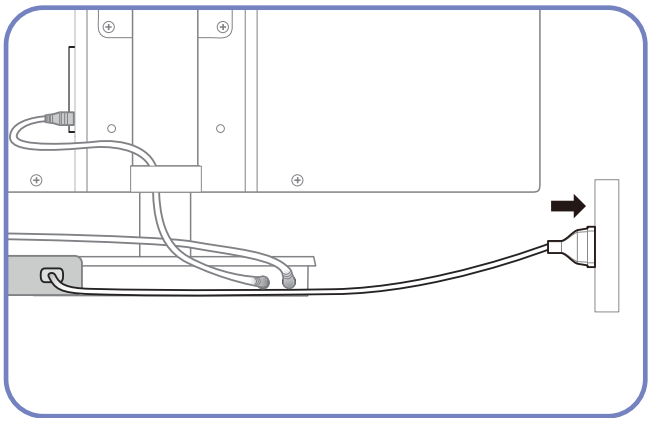
3.3 電源の接続



電源ケーブルを DC 電源アダプタに接続します。次に、DC 電源アダプタをスタンドベースの [DC 14V IN] に接続します。



モニターの [DC 14V] とスタンド ベースの [DC 14V OUT] を電源延長ケーブルで接続します。



電源ケーブルをコンセントに接続します。

DC 電源アダプタをモニターの背面に取り付けることはできません。

4 画面の設定

明るさや色温度などの画面設定を行います。

4.1 明るさ

画像の明るさを調整します。(範囲: 0~100)

値を大きくすると、画像が明るくなります。

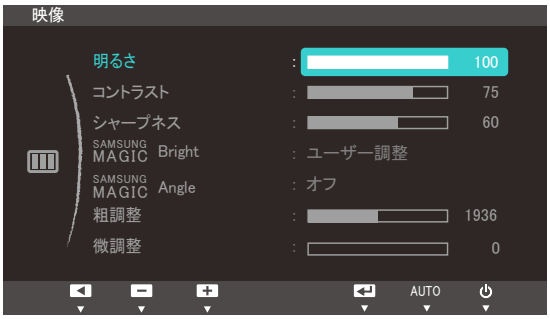
このメニューは、SAMSUNG MAGIC Bright が **ダイナミックコントラスト** モードに設定されている場合には使用できません。

4.1.1 明るさ の設定

1 [MENU]を押します。

2 [▲/▼]を押して**映像**に移動し、[⮌/⏎]を押します。

3 [▲/▼]を押して**明るさ**に移動し、[⮌/⏎]を押します。以下の画面が表示されます。



4 [▲/▼]ボタンを使用して**明るさ**を調整します。

4 画面の設定

4.2 コントラスト

画像と背景のコントラストを調整します。(範囲: 0~100)

値を大きくすると、コントラストが高くなり、オブジェクトがよりはっきりとします。

- このメニューは、SAMSUNG MAGIC Bright が **シネマ** モードまたは **ダイナミックコントラスト** モードのときは使用できません。
- このメニューは、SAMSUNG MAGIC Color が **フル** モードまたは **インテリジェント** モードのときは使用できません。

4.2.1 コントラストの設定

1 [MENU]を押します。

2 [▲/▼]を押して**映像**に移動し、[⏎/⏎]を押します。

3 [▲/▼]を押して**コントラスト**に移動し、[⏎/⏎]を押します。以下の画面が表示されます。

4 [▲/▼]ボタンを使用して**コントラスト**を調整します。

4.3 シャープネス

画像の輪郭をより鮮明に、またはソフトに調整します。(範囲: 0~100)

値を大きくすると、画像の輪郭がより鮮明になります。

- このメニューは、SAMSUNG MAGIC Bright が **シネマ** モードまたは **ダイナミックコントラスト** モードのときは使用できません。
- このメニューは、SAMSUNG MAGIC Color が **フル** モードまたは **インテリジェント** モードのときは使用できません。

4.3.1 シャープネスの設定

1 [MENU]を押します。

2 [▲/▼]を押して**映像**に移動し、[⏎/⏎]を押します。

3 [▲/▼]を押して**シャープネス**に移動し、[⏎/⏎]を押します。以下の画面が表示されます。

4 [▲/▼]ボタンを使用して**シャープネス**を調整します。

4.4 SAMSUNG MAGIC Bright

このメニューでは、製品を使用する環境に合わせて画質を最適化することができます。

このメニューは、SAMSUNG MAGIC Angle が有効になっているときには使用できません。

この機能では、好みに合わせて視角、明るさ、色合いを調整できます。

4.4.1 SAMSUNG MAGIC Bright の設定

1. [MENU]を押します。
2. [▲/▼]を押して**映像**に移動し、[⏎/⏎]を押します。
3. [▲/▼]を押して SAMSUNG MAGIC **Bright** に移動し、[⏎/⏎]を押します。以下の画面が表示されます。

- **ユーザー調整**: 必要に応じてコントラストと明るさをカスタマイズします。
- **標準**: 文書の編集やインターネットの使用に適した画質を取得します。
- **ゲーム**:グラフィック効果や動的動作を多く使用したゲームに適した画質を取得します。
- **シネマ**:ビデオや DVD コンテンツに適した、TV と同じ明るさとシャープネスを取得します。
- **ダイナミックコントラスト**:コントラストを自動調整し、バランスの取れた明るさを取得します。

4. [▲/▼]を押して該当するオプションに移動し、[⏎/⏎]を押します。
5. 選択されたオプションが適用されます。

4.5 SAMSUNG MAGIC Angle

SAMSUNG MAGICAngle を使用すると、好みの視角に応じて画質が最適となるよう設定できます。

- このメニューは、SAMSUNG MAGICBright が **シネマ** モードまたは **ダイナミックコントラスト** モードのときは使用できません。
- このメニューは、SAMSUNG MAGICAngle が有効になっているときには使用できません。

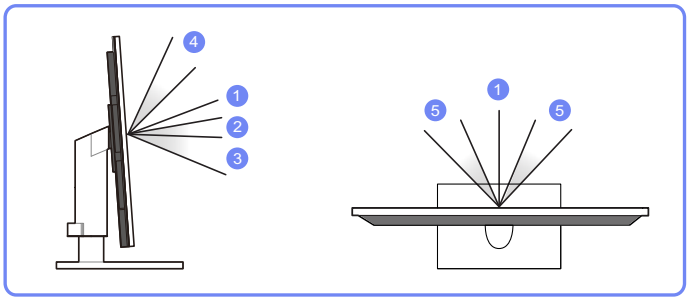
この機能では、好みに合わせて視角、明るさ、色合いを調整できます。

4.5.1 SAMSUNG MAGIC Angle の設定

1 [MENU]を押します。

2 [▲/▼]を押して**映像**に移動し、[⏎/⏎]を押します。

3 [▲/▼]を押して SAMSUNG MAGICAngle に移動し、[⏎/⏎]を押します。以下の画面が表示されます。



- **オフ** ①:真正面から見るときに選択します。
- **ボトム モード 1** ②:少し下から見上げるときに選択します。
- **ボトム モード 2** ③: ボトム モード 1 よりも下から見上げるときに選択します。
- **トップ モード** ④:上から見下ろすときに選択します。
- **サイド モード** ⑤:左右から見るときに選択します。
- **多人数で視聴**: 複数名が同時に①, ④、⑤の位置から見るときに選択します。
- **ユーザー調整**: **ユーザー調整**を選択した場合は、デフォルトでは**ボトム モード 1**が適用されます。

4 [▲/▼]を押して該当するオプションに移動し、[⏎/⏎]を押します。

5 選択されたオプションが適用されます。

4.6 粗調整

画面の周波数を調整します。

アナログ モードでのみ使用できます。

4.6.1 粗調整

1 [MENU]を押します。

2 [▲/▼]を押して**映像**に移動し、[⏎/⏎]を押します。

3 [▲/▼]を押して**粗調整**に移動し、[⏎/⏎]を押します。以下の画面が表示されます。

4 [▲/▼]ボタンを使用して**粗調整**を行います。

4.7 微調整

画面を微調整して、映像をより鮮明にします。

アナログ モードでのみ使用できます。

4.7.1 微調整

1 [MENU]を押します。

2 [▲/▼]を押して**映像**に移動し、[⮌/⏎]を押します。

3 [▲/▼]を押して**微調整**に移動し、[⮌/⏎]を押します。以下の画面が表示されます。

4 [▲/▼]ボタンを使用して**微調整**を行います。

5 色合いの設定

画面の色合いを調整します。このメニューは、SAMSUNG MAGICBright が **シネマ** モードまたは **ダイナミックコントラスト** モードに設定されている場合には使用できません。

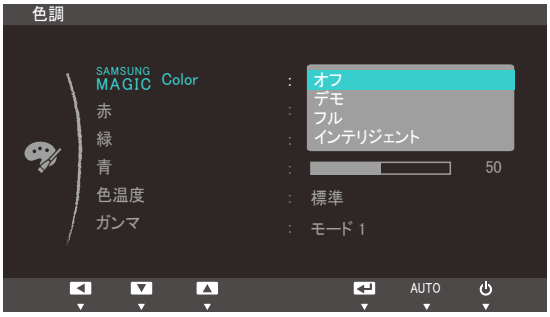
5.1 SAMSUNG MAGIC Color

SAMSUNG MAGICColor は、Samsung が独自に開発した新しい映像画質向上テクノロジーで、画質を低下させることなく色鮮やかな自然色を実現します。

このメニューは、SAMSUNG MAGICAngle が有効になっているときには使用できません。

5.1.1 色調 の設定

1. [MENU]を押します。
2. [▲/▼]を押して**色調**に移動し、[⮌/⏎]を押します。
3. [▲/▼]を押して SAMSUNG MAGICColor に移動し、[⮌/⏎]を押します。以下の画面が表示されます。



- **オフ**:SAMSUNG MAGICColor を無効にします。
- **デモ**:通常の画面モードと SAMSUNG MAGICColor モードを比較できます。
- **フルモード**: 肌の色を含む、映像全体の画質をより鮮明にします。
- **インテリジェント**:肌の色以外の、映像全体の彩度を向上させます。

4. [▲/▼]を押して該当するオプションに移動し、[⮌/⏎]を押します。
5. 選択されたオプションが適用されます。

5 色合いの設定

5.2 赤

画像の赤色の値を調整します。(範囲: 0~100)

値が大きいほど、色強度は強くなります。

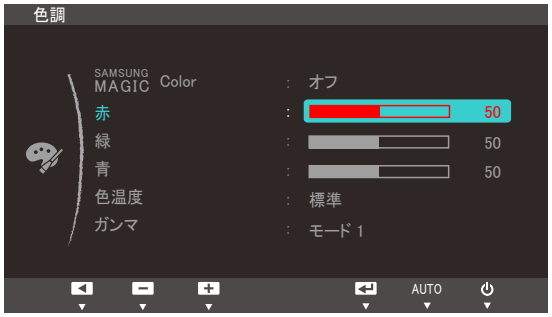
このメニューは、SAMSUNG MAGICColor が **フル** モードまたは **インテリジェント** モードのときは使用できません。

5.2.1 赤の設定

1 [MENU]を押します。

2 [▲/▼]を押して**色調**に移動し、[⏎/⏎]を押します。

3 [▲/▼]を押して**赤** に移動し、[⏎/⏎]を押します。以下の画面が表示されます。



4 [▲/▼]ボタンを使用して**赤** を調整します。

5 色合いの設定

5.3 緑

画像の緑色の値を調整します。(範囲: 0~100)

値が大きいほど、色強度は強くなります。

このメニューは、SAMSUNG MAGICColor が **フル** モードまたは **インテリジェント** モードのときは使用できません。

5.3.1 緑の設定

1 [MENU]を押します。

2 [▲/▼]を押して**色調**に移動し、[⏎/⏎]を押します。

3 [▲/▼]を押して**緑** に移動し、[⏎/⏎]を押します。以下の画面が表示されます。

4 [▲/▼]ボタンを使用して**緑** を調整します。

5 色合いの設定

5.4 青

画像の青色の値を調整します。(範囲: 0~100)

値が大きいほど、色強度は強くなります。

このメニューは、SAMSUNG MAGICColor が フル モードまたは インテリジェント モードのときは使用できません。

5.4.1 青の設定

1 [MENU]を押します。

2 [▲/▼]を押して色調に移動し、[⏎/⏎]を押します。

3 [▲/▼]を押して青 に移動し、[⏎/⏎]を押します。以下の画面が表示されます。

4 [▲/▼]ボタンを使用して青 を調整します。

5 色合いの設定

5.5 色温度

画像の色温度を調整します。

- このメニューは、SAMSUNG MAGIC Color が **フル** モードまたは **インテリジェント** モードのときは使用できません。
- このメニューは、SAMSUNG MAGIC Angle が有効になっているときには使用できません。

5.5.1 色温度 の設定

1 [MENU]を押します。

2 [▲/▼]を押して**色調**に移動し、[⏎/⏎]を押します。

3 [▲/▼]を押して**色温度**に移動し、[⏎/⏎]を押します。以下の画面が表示されます。

- **青色系 2**: 色温度を**青色系 1**よりも寒色に設定します。
- **青色系 1**:色温度を**標準**モードよりも寒色に設定します。
- **標準**: 標準の色温度を表示します。
- **赤色系 1**:色温度を**標準**モードよりも暖色に設定します。
- **赤色系 2**: 色温度を**赤色系 1**よりも暖色に設定します。
- **ユーザー調整**: 色温度をカスタマイズします。

4 [▲/▼]を押して該当するオプションに移動し、[⏎/⏎]を押します。

5 選択されたオプションが適用されます。

5 色合いの設定

5.6 ガンマ

映像の中間域の明るさ（ガンマ）を調整します。

このメニューは、SAMSUNG MAGIC Angle が有効になっているときには使用できません。

5.6.1 ガンマの設定

1 [MENU]を押します。

2 [▲/▼]を押して**色調**に移動し、[⏎/⏎]を押します。

3 [▲/▼]を押して**ガンマ**に移動し、[⏎/⏎]を押します。以下の画面が表示されます。

4 [▲/▼]を押して該当するオプションに移動し、[⏎/⏎]を押します。

5 選択されたオプションが適用されます。

6 画面のサイズとポジションの変更

6.1 H-ポジション と V-ポジション

H-ポジション:画面を左右に動かします。

V-ポジション:画面を上下に動かします。

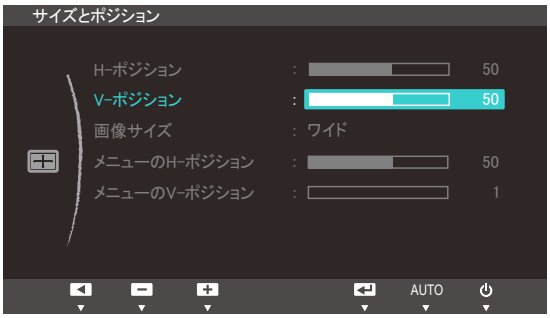
アナログ モードでのみ使用できます。

6.1.1 H-ポジション と V-ポジションの設定

1 [MENU]を押します。

2 [▲/▼]を押して**サイズとポジション**に移動し、[⮌/⏎]を押します。

3 [▲/▼]を押して **H-ポジション** または **V-ポジション** に移動し、[⮌/⏎]を押します。以下の画面が表示されます。



4 [▲/▼]を押して **H-ポジション** または **V-ポジション** を設定します。

6 画面のサイズとポジションの変更

6.2 画像サイズ

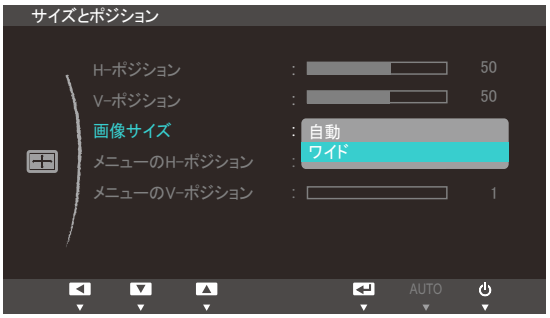
映像サイズを変更します。

6.2.1 映像画像サイズを変更

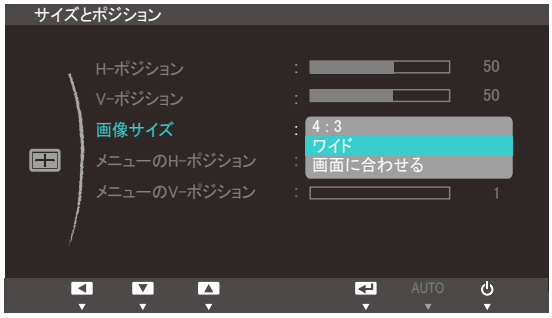
1 [MENU]を押します。

2 [▲/▼]を押して**サイズとポジション**に移動し、[⮌/⏎]を押します。

3 [▲/▼]を押して**画像サイズ**に移動し、[⮌/⏎]を押します。以下の画面が表示されます。



- **自動**:入力ソースの縦横比で画像を表示します。
- **ワイド**:入力ソースの縦横比と無関係に画像を全画面表示します。



- **4:3**: 画像を 4:3 の縦横比で表示します。ビデオや標準放送に適しています。
- **ワイド**:入力ソースの縦横比と無関係に画像を全画面表示します。
- **画面に合わせる**:画像を切断することなく本来の縦横比で表示します。

画面サイズは、以下の条件を満たす場合に限り変更可能です。

- デジタル出力デバイスが DVI/DP ケーブルで接続されている。
- 入力信号が 480p、576p、720p、1080i、または 1080p である。

4 [▲/▼]を押して該当するオプションに移動し、[⮌/⏎]を押します。

5 選択されたオプションが適用されます。

6.3 メニューのH-ポジションとメニューのV-ポジション

メニューのH-ポジション:メニューの位置を左右に動かします。

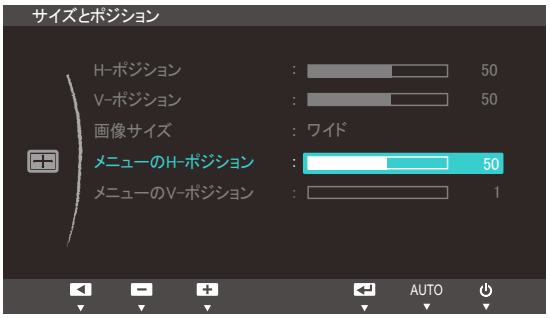
メニューのV-ポジション:メニューの位置を上下に動かします。

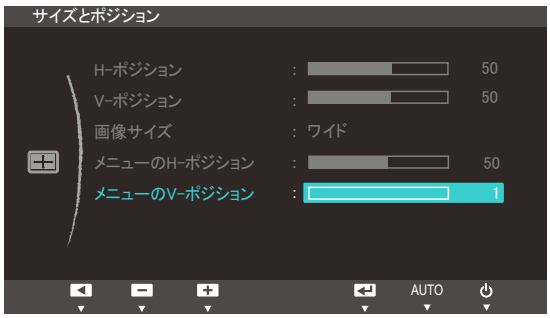
6.3.1 メニューのH-ポジションとメニューのV-ポジション の設定

1 [MENU]を押します。

2 [▲/▼]を押して**サイズとポジション**に移動し、[⏎/⏎]を押します。

3 [▲/▼]を押して **メニューのH-ポジション** または **メニューのV-ポジション** に移動し、[⏎/⏎]を押します。以下の画面が表示されます。





4 [▲/▼]を押して **メニューのH-ポジション** または **メニューのV-ポジション** を設定します。

7 セットアップとリセット

7.1 リセット

製品に対するすべての設定を工場出荷時のデフォルト設定に戻します。

7.1.1 設定の初期化（リセット）

1 [MENU]を押します。

2 [▲/▼]を押して**セットアップとリセット**に移動し、[⮌/⏎]を押します。

3 [▲/▼]を押して**リセット**に移動し、[⮌/⏎]を押します。以下の画面が表示されます。

4 [▲/▼]を押して該当するオプションに移動し、[⮌/⏎]を押します。

5 選択されたオプションが適用されます。

7.2 言語

メニューの言語を設定します。

- 言語設定への変更は、画面のメニュー表示のみに対して適用されます。
- ご使用の PC のその他の機能には適用されません。

7.2.1 言語 の変更

1 [MENU]を押します。

2 [▲/▼]を押して**セットアップとリセット**に移動し、[⏎/⏎]を押します。

3 [▲/▼]を押して**言語**に移動し、[⏎/⏎]を押します。以下の画面が表示されます。

4 [▲/▼]を押して該当する言語に移動し、[⏎/⏎] を押します。

5 選択されたオプションが適用されます。

7 セットアップとリセット

7.3 オフタイマーのオン/オフ

電源が自動的にオフになるオフ タイマーを、有効または無効にします。

7.3.1 オフタイマーのオン/オフ の設定

1 [MENU]を押します。

2 [▲/▼]を押して **セットアップとリセット** に移動し、[⏎/⏎]を押します。

3 [▲/▼]を押して **オフタイマーのオン/オフ** に移動し、[⏎/⏎]を押します。以下の画面が表示されます。

- **オフ**: 電源を自動的にオフにしない場合はオフ タイマーをオフにします。
- **オン**: 電源を自動的にオフにする場合はオフ タイマーをオンにします。

4 [▲/▼]を押して該当するオプションに移動し、[⏎/⏎]を押します。

5 選択されたオプションが適用されます。

7.4 オフタイマー設定

オフ タイマーは、1～23 時間の範囲内で設定できます。指定された時間に達すると自動的に電源がオフになります。

このメニューは、**オフタイマーのオン/オフ** が **オン** に設定されている場合にのみ使用できます。

7.4.1 オフタイマー設定の設定

1 [MENU]を押します。

2 [▲/▼]を押して **セットアップとリセット** に移動し、[⏎/⏎]を押します。

3 [▲/▼]を押して **オフタイマー設定** に移動し、[⏎/⏎]を押します。以下の画面が表示されます。

4 [▲/▼]を押して **オフタイマー設定** を行います。

7.5 PC/AV モード

PC/AV モード を AV に設定します。映像サイズが拡大されます。このオプションは映画を視聴する場合に便利です。

PC/AV モードは、デジタル モードに設定されているときにのみ使用できます。

7.5.1 PC/AV モードの設定

1 [MENU]を押します。

2 [▲/▼]を押してセットアップとリセットに移動し、[⏎/⏎]を押します。

3 [▲/▼]を押して PC/AV モードに移動し、[⏎/⏎]を押します。以下の画面が表示されます。

4 [▲/▼]を押して該当するオプションに移動し、[⏎/⏎]を押します。

5 選択されたオプションが適用されます。

7.6 繰り返し回数

ボタンが押されたときの応答速度を制御します。

7.6.1 繰り返し回数 の設定

1 [MENU]を押します。

2 [▲/▼]を押して **セットアップとリセット** に移動し、[⏎/⏎]を押します。

3 [▲/▼]を押して **繰り返し回数** に移動し、[⏎/⏎]を押します。以下の画面が表示されます。

- **速く**、**1 秒**または **2 秒** を選択できます。**繰り返しなし**を選択した場合には、コマンドはボタンが押されたときに 1 回のみ反応します。

4 [▲/▼]を押して該当するオプションに移動し、[⏎/⏎]を押します。

5 選択されたオプションが適用されます。

7.7 カスタマイズキー

カスタマイズキー を以下のようにカスタマイズすることができます。

7.7.1 カスタマイズキー の設定

1 [MENU]を押します。

2 [▲/▼]を押して**セットアップとリセット**に移動し、[⮌/⏎]を押します。

3 [▲/▼]を押して**カスタマイズキー**に移動し、[⮌/⏎]を押します。以下の画面が表示されます。

- SAMSUNG MAGIC**Angle** – SAMSUNG MAGIC**Bright** – **画像サイズ**

4 [▲/▼]を押して該当するオプションに移動し、[⮌/⏎]を押します。

5 選択されたオプションが適用されます。

7.8 自動ソース検出

自動ソース検出を有効化します。

7.8.1 自動ソース検出の設定

1 [MENU]を押します。

2 [▲/▼]を押して **セットアップとリセット** に移動し、[⏎/⏎]を押します。

3 [▲/▼]を押して **自動ソース検出** に移動し、[⏎/⏎]を押します。以下の画面が表示されます。

- **自動**: 入力ソースが自動認識されます。
- **手動**: 入力ソースを手動で選択します。

4 [▲/▼]を押して該当するオプションに移動し、[⏎/⏎]を押します。

5 選択されたオプションが適用されます。

7.9 表示時間

オンスクリーン ディスプレイ（OSD）メニューを一定期間使用しなかった場合に自動的に消えるよう設定します。

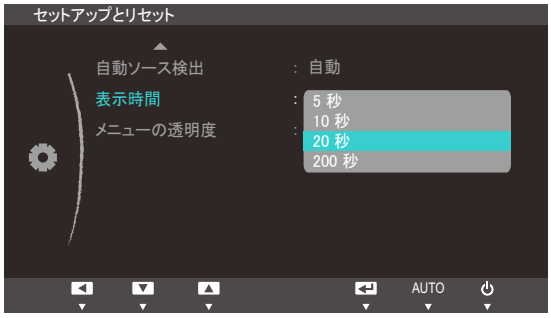
表示時間 では、OSD メニューが消えるまでの時間を指定できます。

7.9.1 表示時間の設定

1 [MENU]を押します。

2 [▲/▼]を押して **セットアップとリセット** に移動し、[⮌/⏎]を押します。

3 [▲/▼]を押して **表示時間** に移動し、[⮌/⏎]を押します。以下の画面が表示されます。



4 [▲/▼]を押して該当するオプションに移動し、[⮌/⏎]を押します。

5 選択されたオプションが適用されます。

7.10 メニューの透明度

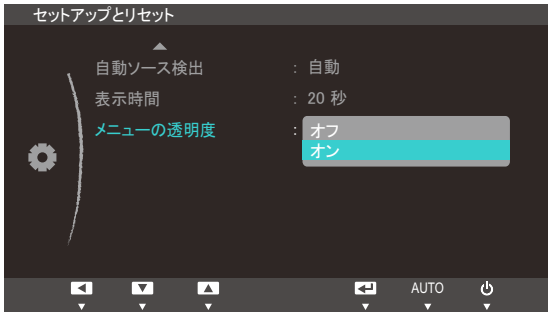
メニュー ウィンドウの透明度を設定します:

7.10.1 メニューの透明度の変更

1 [MENU]を押します。

2 [▲/▼]を押して **セットアップとリセット** に移動し、[⮌/⏎]を押します。

3 [▲/▼]を押して **メニューの透明度** に移動し、[⮌/⏎]を押します。以下の画面が表示されます。



4 [▲/▼]を押して該当するオプションに移動し、[⮌/⏎]を押します。

5 選択されたオプションが適用されます。

8 インフォメーションメニューおよびその他

8.1 インフォメーション

現在の入力ソース、周波数および解像度を表示します。

8.1.1 インフォメーションの表示

1 [MENU]を押します。

2 [▲/▼]を押して **インフォメーション** に移動します。現在の入力ソース、周波数および解像度が表示されます。

表示画面は製品のモデルによって異なる場合があります。

8.2 起動画面での 明るさ の設定

OSDガイドの表示中に、[◉] ボタンを押して **明るさ** を調整します。

1 OSDガイドを表示するには、(メニュー画面が表示されていない状態で) 製品フロント部のいずれかのボタンを押します。次いで、[◉] を押します。以下の画面が表示されます。

2 [▲/▼]ボタンを使用して **明るさ** を調整します。

9 ソフトウェアのインストール

9.1 ナチュラルカラー

9.1.1 ナチュラルカラー とは?

PC を使用しているときの問題として、画面に表示される色が印刷したときの色またはスキャナーやデジタル カメラから入力されたソース画像の色と異なる場合がある、というものがあります。Natural Color は、Samsung Electronics がこの問題を解決するために開発した色管理システムです。このソフトウェアはサムスンの製品でのみ動作し、画面に表示される色を調整して印刷したときの画像の色と同じになるようにします。詳しくは、ソフトウェアのオンライン ヘルプ （F1）を参照してください。

Natural Color はオンラインで入手できます。以下の Web サイトからダウンロードしてインストールすることができます。

http://www.samsung.com/us/consumer/learningresources/monitor/naturalcolorexpert/pop_download.html

9 ソフトウェアのインストール

9.2 MultiScreen

MultiScreen は、複数の画面に区切ってモニターを複数のユーザーが使用できるようにします。

9.2.1 ソフトウェアのインストール

1 [CDをCD-ROM]ドライブに挿入します。

2 "MultiScreen" セットアップ プログラムを選択しまｓう。

ソフトウェア インストールのポップアップ画面がメイン画面に表示されない場合には、[CD-ROM] で "MultiScreen" セットアップ ファイルを探してダブルクリックします。

3 インストール ウィザードが表示されたら、[**Next （次へ）**]をクリックします。

4 画面上に表示される手順に従って、インストールを行います。

- このソフトウェアは、インストール後にコンピュータを再起動しないと正常に動作しない場合があります。
- コンピュータ システムと製品の仕様によっては、"MultiScreen" アイコンが表示されない場合があります。
- ショートカット アイコンが表示されない場合には、"F5" キーを押します。

インストールに関する制限と問題 (MultiScreen)

"MultiScreen "のインストールは、グラフィック カード、マザーボードおよびネットワーク環境による影響を受けることがあります。

オペレーティング システム

"OS"

- "Windows 2000"
- "Windows XP Home Edition"
- "Windows XP Professional"
- "Windows Vista 32Bit"
- "Windows 7 32bit"

"MultiScreen" では、"Windows 2000 "以降のオペレーティング システムが推奨されます。

"ハードウェア"

- 最低 32MB のメモリ
- 最低 60MB のハードディスク空き容量

9.2.2 ソフトウェアの削除

[Start (スタート)] をクリックし、[Settings (設定)]/[Control Panel (コントロール パネル)] を選択して [Add or Remove Programs (プログラムの追加と削除)] をダブルクリックします。

プログラム リストから "MultiScreen" を選択し、[Add/Delete (変更と削除)] ボタンをクリックします。

10.1 Samsung カスタマー サービス センターにお問い合わせいただく前に

10.1.1 製品のテスト

サムスンお客様相談ダイヤルにご連絡いただく前に、以下の手順で製品のテストを行ってください。問題が解決しない場合には、サムスンお客様相談ダイヤルにご連絡ください。

製品のテスト機能を使用して、製品が正常に動作しているかどうかを確認します。

製品と PC が正しく接続されているのに画面に何も表示されず、電源インジケーターが点滅する場合には、自己診断テストを実行します。

1. PC と製品の両方の電源をオフにします。
2. 製品からケーブルを外します。
3. 製品の電源をオンにします。
4. **信号ケーブルを確認してください**というメッセージが表示された場合には、製品は正常に動作しています。

   画面に何も映らないままのときには、PC システム、ビデオ コントローラおよびケーブルを確認します。

10.1.2 解像度と周波数の確認

サポートされている解像度を超えている場合 (“11.2 標準信号モード表”参照) には、**最適なモードではありません**というメッセージが少しの間表示されます

10.1.3 以下について確認します。

インストールの問題 (PC モード)	
画面がオンとオフを繰り返す。	製品と PC との間のケーブル接続を確認し、しっかりと接続されていることを確認します。(“3.2 PC の接続と使用”参照)。

画面の問題	
電源 LED が消灯している。画面がオンにならない。	電源コードが正しく接続されていることを確認します 。(“3.2 PC の接続と使用”参照)。
信号ケーブルを確認してください というメッセージが表示される。	製品にケーブルが正しく接続されていることを確認します。(“3.2 PC の接続と使用”参照)。
	電源がオンになっている製品に装置が接続されていることを確認します。

画面の問題	
″[最適なモードではありません] と表示される。	このメッセージは、グラフィック カードからの信号が製品の最大解像度または最大周波数を超えている場合に表示されます。
	標準信号モード表 (108 ページ) を参照し、製品性能に適した最大解像度および最大周波数に変更します。
画面の画像がゆがんで見える。	製品のケーブル接続を確認します (″3.2 PC の接続と使用″参照)。
画面がはっきりしない。画面がぼやけてみえる。	粗調整 (78 ページ) および微調整 (79 ページ) を行います。
	アクセサリ (ビデオの拡張ケーブルなど) を取り外して再度試してみます。
	解像度と周波数を推奨のレベルに設定します。(″11.1 一般″参照)。
画面が安定せず震えて見える。	C の解像度および周波数が、製品が対応している解像度および周波数の範囲内で設定されていることを確認し、必要な場合には、このマニュアルの標準信号モード表 (108 ページ) および製品のインフォメーションメニューを参照して、設定を変更します。
画面の画像の左側に影やゴーストがある。	
画面が明るすぎる。画面が暗すぎる。	明るさ (73 ページ) とコントラスト (74 ページ) を調整します。
画面の色が正しくない。	色調設定を変更します。(″ 色合いの設定″参照)。
画面の色に影があり、ゆがんで見える。	色調設定を変更します。 (″ 色合いの設定″参照)。
白が正しく白色に見えない。	色調設定を変更します。 (″ 色合いの設定″参照)。
画面に画像が表示されず、LED が 0.5〜1 秒間隔で点滅する。	製品が省電力モードになっています。
	キーボードのキーを押すかマウスを動かすと、前の画面に戻ります。

入力信号装置おｎ問題	
PC の起動時にビープ音が鳴る。	PC の起動時にビープ音が鳴る場合は、PC の点検修理を行ってください。

10.2 Q & A

質問	回答
周波数の変更方法は?	グラフィック カードで周波数を設定します。 • Windows XP: **コントロール パネル** → **デスクトップの表示とテーマ** → **画面** → **設定** → **詳細設定**→ **モニタ**を選択し、**モニタの設定**の**リフレッシュ レート**を調節します。 • Windows ME/2000: **コントロール パネル** → **画面** → **設定** → **詳細設定** → **モニタ**を選択し、**モニタの設定**の**リフレッシュ レート**を調節します。 • Windows Vista: **コントロール パネル** → **デスクトップのカスタマイズ** → **個人設定** → **画面の設定** → **詳細設定** → **モニタ**を選択し、**モニタの設定**の**リフレッシュ レート**を調節します。 • Windows 7 : **コントロール パネル** → **デスクトップの表示とテーマ** → **画面** → **画面の解像度** → **詳細設定** → **モニタ**を選択し、**モニタの設定**の**リフレッシュ レート**を調節します。
解像度の変更方法は?	• Windows XP: **コントロール パネル** → **デスクトップの表示とテーマ** → **画面** → **設定** で解像度を調整します。 • Windows ME/2000: **コントロール パネル** → **画面** → **設定** で解像度を調整します。 • Windows Vista: **コントロール パネル** → **デスクトップと個人設定** → **個人設定** → **画面の設定** で解像度を調整します。 • Windows 7 : **コントロール パネル** → **デスクトップと個人設定** → **画面** → **解像度の調整** で解像度を調整します。
省電力モードの設定方法は?	• Windows XP:**コントロール パネル** → **デスクトップの表示とテーマ** → **画面** → **スクリーン セーバーの設定** または PC の BIOS SETUP で省電力モードを設定します。 • Windows ME/2000:**コントロール パネル** → **画面** → **スクリーン セーバーの設定** または PC の BIOS SETUP で省電力モードを設定します。 • Windows Vista:**コントロール パネル** → **デスクトップと個人設定** → **個人設定** → **スクリーン セーバーの設定** または PC の BIOS SETUP で省電力モードを設定します。 • Windows 7 :**コントロール パネル** → **デスクトップと個人設定** → **個人設定** → **スクリーン セーバーの設定** または PC の BIOS SETUP で省電力モードを設定します。

調整の詳細な手順については、ご使用の PC またはグラフィック カードのユーザー マニュアルを参照してください。

11 仕様

11.1 一般

モデル名		NS190	NS220	NS240
パネル	サイズ	19 インチ(48cm)	21.5 インチ(54cm)	24 インチ(61cm)
	表示範囲	408.24 mm (H) x 255.15 mm (V)	476.64 mm (H) x 268.1 mm (V)	518.4 mm (H) x 324.0 mm (V)
同期	水平周波数	30～81 kHz		
	垂直周波数	56～75 kHz		
表示色		16.7 M		
解像度	最適解像度	1440 x 900 @ 60Hz	1920 x 1080 @ 60Hz	1920 x 1200 @ 60Hz
	最大解像度	1440 x 900 @ 60Hz	1920 x 1080 @ 60Hz	1920 x 1200 @ 60Hz
最大ピクセル クロック		137MHz	164MHz	164MHz
消費電力	通常動作	50 ワット未満	55 ワット未満	60 ワット未満
	電源オフ (電源ボタン)	1.5 ワット未満		
	電源オフ (電源スイッチがオフ)	0 W		
電源		この製品は 100～240V を使用します。標準の電圧は国によって異なりますので、製品背面のラベルを参照してください。		
信号コネクタ		D-Sub, DVI		
サーバー コネクタ		LAN ポート		
USB		USB 2.0 X 4 (ダウンストリーム)		
寸法 (W x H x D)/重量 (スタンド込み)		443.0 x 566.8 x 227.0 mm / 4.4 kg	513.0 x 574.1 x 227.0 mm / 4.9 kg	560.0 x 594.3 x 227.0 mm / 5.3 kg
環境条件	動作時	温度:10～40 °C (50～104 °F) 湿度:10～80 %、結露しないこと		
	記録装置(梱包保存時)	温度:-20～45°C(-4～ 113°F) 湿度:5～95 %、結露しないこと		

11 仕様

モデル名	NS190	NS220	NS240
プラグ & プレイ	このモニターは、プラグ & プレイ互換システムにインストールし て使用することができます。モニターと PC システムとの双方向 のデータ交換により、モニターの設定を最適化します。モニター のインストールは自動的に行われます。ただし、必要に応じてイ ンストール設定をカスタマイズすることができます。		
パネル ドット (ピクセル)	この製品の製造上の特質によって、LCD パネルに表示される映像 の中に約 100 万個に 1 個の割合 (1ppm) でピクセルが通常よりも明 るく、または暗く表示される場合があります。これは製品の性能 に影響を与えるものではありません。		

上記の仕様は、品質向上のために予告なく変更されることがあります。

ＶＣＣＩ－Ｂ

この装置は、クラスＢ　情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを 目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

- 表示される消費電力のレベルは、動作条件または設定が変更されたタイミングによって異なります。
- 消費電力を 0 ワットにするには、アダプタのスイッチをオフにして電源コードを外します。長期間製品を使用しない場合は、必ず電源コードを抜いてください。電源スイッチを使用できない場合に電力消費を 0 にするには、電源ケーブルを抜きます。

11.2 標準信号モード表

- この製品は、パネルの特性に応じて最適な画質を得るために、各画面サイズについて 1 種類の解像度のみ設定することができます。したがって、指定の解像度以外の解像度を設定すると、画質が低下する場合があります。これを避けるには、ご使用の製品の画面サイズ用の最適な解像度を選択することをお勧めします。
- (PC に接続されている) CDT モニターを LCD モニターに交換した場合には、周波数を確認してください。LCD モニターが 85Hz をサポートしていない場合には、CDT モニターを使用して垂直周波数を 60Hz に変更してから LCD モニターに交換してください。

以下の標準信号モードに該当する信号が PC から送信される場合には、画面は自動的に調整されます。PC から送信される信号が標準の信号モードに含まれるものではない場合、電源 LED が点灯していても画面には何も表示されません。この場合には、グラフィック カードのユーザー マニュアルを参照して、以下の表に従って設定を変更してください。

NS190

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセル クロック (MHz)	同期極性 (H/V)
IBM, 720 X 400	31.469	70.087	28.322	-/+
VESA、640 x 480	31.469	59.940	25.175	-/-
MAC、640 x 480	35.000	66.667	30.240	-/-
VESA、640 x 480	37.861	72.809	31.500	-/-
VESA、640 x 480	37.500	75.000	31.500	-/-
VESA、800 x 600	35.156	56.250	36.000	+/+
VESA、800 x 600	37.879	60.317	40.000	+/+
VESA、800 x 600	48.077	72.188	50.000	+/+
VESA、800 x 600	46.875	75.000	49.500	+/+
MAC、832 x 624	49.726	74.551	57.284	-/-
VESA、1024 x 768	48.363	60.004	65.000	-/-
VESA、1024 x 768	56.476	70.069	75.000	-/-
VESA、1024 x 768	60.023	75.029	78.750	+/+
VESA、1152 x 864	67.500	75.000	108.000	+/+
MAC、1152 x 870	68.681	75.062	100.000	-/-
VESA、1280 x 800	49.702	59.810	83.500	-/+
VESA、1280 x 800	62.795	74.934	106.500	-/+
VESA、1280 x 960	60.000	60.000	108.000	+/+
VESA、1280 x 1024	63.981	60.020	108.000	+/+

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセル クロック (MHz)	同期極性 (H/V)
VESA、1280 x 1024	79.976	75.025	135.000	+/+
VESA、1440 x 900	55.935	59.887	106.500	-/+
VESA、1440 x 900	70.635	74.984	136.750	-/+

NS220

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセル クロック (MHz)	同期極性 (H/V)
IBM, 720 X 400	31.469	70.087	28.322	-/+
IBM、640 x 480	31.469	59.940	25.175	-/-
MAC、640 x 480	35.000	66.667	30.240	-/-
MAC、832 x 624	49.726	74.551	57.284	-/-
MAC、1152 x 870	68.681	75.062	100.000	-/-
VESA、640 x 480	37.861	72.809	31.500	-/-
VESA、640 x 480	37.500	75.000	31.500	-/-
VESA、800 x 600	35.156	56.250	36.000	+/+
VESA、800 x 600	37.879	60.317	40.000	+/+
VESA、800 x 600	48.077	72.188	50.000	+/+
VESA、800 x 600	46.875	75.000	49.500	+/+
VESA、1024 x 768	48.363	60.004	65.000	-/-
VESA、1024 x 768	56.476	70.069	75.000	-/-
VESA、1024 x 768	60.023	75.029	78.750	+/+
VESA、1152 x 864	67.500	75.000	108.000	+/+
VESA、1280 x 800	49.702	59.810	83.500	-/+
VESA、1280 x 800	62.795	74.934	106.500	-/+
VESA、1280 x 960	60.000	60.000	108.000	+/+
VESA、1280 x 1024	63.981	60.020	108.000	+/+
VESA、1280 x 1024	79.976	75.025	135.000	+/+
VESA、1440 x 900	55.935	59.887	106.500	-/+
VESA、1440 x 900	70.635	74.984	136.750	-/+
VESA, 1600 X 1200	75.000	60.000	162.000	+/+
VESA, 1680 X 1050	65.290	59.954	146.250	-/+
VESA, 1920 X 1080	67.500	60.000	148.500	+/+

11 仕様

NS240

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセル クロック (MHz)	同期極性 (H/V)
IBM, 720 X 400	31.469	70.087	28.322	-/+
IBM、640 x 480	31.469	59.940	25.175	-/-
MAC、640 x 480	35.000	66.667	30.240	-/-
MAC、832 x 624	49.726	74.551	57.284	-/-
MAC、1152 x 870	68.681	75.062	100.000	-/-
VESA、640 x 480	37.861	72.809	31.500	-/-
VESA、640 x 480	37.500	75.000	31.500	-/-
VESA、800 x 600	35.156	56.250	36.000	+/+
VESA、800 x 600	37.879	60.317	40.000	+/+
VESA、800 x 600	48.077	72.188	50.000	+/+
VESA、800 x 600	46.875	75.000	49.500	+/+
VESA、1024 x 768	48.363	60.004	65.000	-/-
VESA、1024 x 768	56.476	70.069	75.000	-/-
VESA、1024 x 768	60.023	75.029	78.750	+/+
VESA、1152 x 864	67.500	75.000	108.000	+/+
VESA、1280 x 800	49.702	59.810	83.500	-/+
VESA、1280 x 960	60.000	60.000	108.000	+/+
VESA、1280 x 1024	63.981	60.020	108.000	+/+
VESA、1280 x 1024	79.976	75.025	135.000	+/+
VESA、1440 x 900	55.935	59.887	106.500	-/+
VESA、1440 x 900	70.635	74.984	136.750	-/+
VESA, 1600 X 1200	75.000	60.000	162.000	+/+
VESA, 1680 X 1050	65.290	59.954	146.250	-/+
VESA、1920 x 1200(RB)	74.038	59.950	154.000	+/-

- 水平周波数

  1 本の線を画面の左から右にスキャンするのに必要な時間を水平サイクルと呼びます。水平サイクルの逆数を水平周波数と呼びます。水平周波数は kHz 単位で測定します。

- 垂直周波数

  1 秒間に数十回同じ映像を繰り返し表示することによって、自然な映像を表示できるようになります。この反復周波数を "垂直周波数" または "リフレッシュ レート" と呼び、Hz 単位で表示します。

お客様相談ダイヤル

東雲サービスセンター

0120-327-527

受付時間	平日（土日祭日を除く）9:00~17:00 ※
ホームページ	http://www.samsung.com/jp
住所	〒135-0062　東京都江東区東雲2-6-38
Fax	03-3527-5533

※ 予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

用語

OSD (オンスクリーン ディスプレイ)

オンスクリーン ディスプレイ (OSD) では、画面上の設定を行って、必要に応じて画質を最適化することができます。画面に表示されるメニューを使用して、画面の明るさや色合い、サイズなどのさまざまな設定を変更できます。

ガンマ

ガンマ メニューでは、画面の中間調を示すグレースケールを調整します。明るさを調整すると画面全体が明るくなりますが、ガンマを調整した場合は中間の明るさの部分だけが明るくなります。

グレースケール

スケールとは色の強度のことで、画面上の暗い部分から明るい部分への色の変化を表します。画面の明るさの変更は白と黒の変化で表現されますが、グレースケールは白と黒の中間色を指すため、ガンマ調整でグレースケールを変更すると、画面上の中間の明るさの部分が変化します。

走査速度

走査速度は「リフレッシュ レート」とも呼ばれ、画面の書き換え (リフレッシュ) 頻度を表します。画像のリフレッシュ時には画面データが送信されます。ただし、これを肉眼で確認することはできません。この画面を書き換える回数を走査速度と呼び、Hz 単位で表します。たとえば走査速度が 60Hz の場合は、1 秒間に 60 回画面の書き換えが行われます。画面の走査速度は、ご使用の PC およびモニターのグラフィック カードの性能によって異なります。

水平周波数

モニター画面に表示される文字や画像は、多数のドット (ピクセル) で構成されています。ピクセルは水平方向の線 (ライン) になるよう送信され、これらのラインが垂直に配列されて画像が形成されます。水平周波数は kHz 単位で測定され、1 秒間に水平方向のラインがモニター画面に送信され描画される回数を表します。たとえば水平周波数が 85 の場合は、画像を作り出す水平方向のラインが 1 秒間に 85,000 回送信されます。このとき、水平周波数は 85kHz と表されます。

垂直周波数

画像は、水平方向の多数のラインで構成されます。垂直周波数は Hz 単位で測定され、1 秒間に水平方向のラインによって描画される画像の数を表します。たとえば垂直周波数が 60 の場合は、1 秒間に画像が 60 回描画されます。垂直周波数は ″リフレッシュ レート″ とも呼ばれ、画面のちらつきに作用します。

解像度

解像度は、画面を形成している水平および垂直方向のピクセルの数で、ディスプレイの精細度を意味します。

高い解像度では、多くの情報を画面上に表示できるため、同時に複数の作業を実行する場合に適しています。

たとえば解像度が 1920 x 1080 の場合、水平方向のピクセル（水平周波数）は 1,920 個、垂直のライン（垂直解像度）は 1,080 本となります。

プラグ & プレイ

プラグ & プレイ機能では、モニターと PC 間で情報が自動的に交換され、最適なディスプレイ環境が構築されます。

モニターでは VESA DDC（国際規格）を使用してプラグ & プレイを実行しています。

索引

"PCoIP" 33
"PCoIP"を使用するための接続方法 29

H

H-ポジション と V-ポジション 86

L

LANケーブルを使用してホストPCに接続する 60

M

MultiScreen 101

P

PC over IP とは 28
PC の接続と使用 62
PC/AV モード 93

Q

Q & A 105

S

SAMSUNG MAGIC Angle 77
SAMSUNG MAGIC Bright 76
SAMSUNG MAGIC Color 80
Samsung カスタマー サービス センターにお問い合わせいただく前に 103

Z

安全にお使いいただくために 4
一般 106
画像サイズ 87
起動画面での 明るさの設定 99
繰り返し回数 94
言語 90
自動ソース検出 96
色温度 84
製品使用時の正しい姿勢 12
青 83
赤 81
接続の前に 61
設置場所の安全確保 4
粗調整 78
内容の確認 18
微調整 79
標準信号モード表 108
表示時間 97
付録 111
部品 20
保管時の注意 4
明るさ 73
用語 112
緑 82

い

インストール方法 24
インフォメーション 99

お

お客様相談ダイヤル 111
オフタイマー設定 92
オフタイマーのオンオフ 91

か

カスタマイズキー 95
ガンマ 85

く

クリーニング 3

索引

こ

コントラスト *74*

し

シャープネス *75*

な

ナチュラルカラー *100*

め

メニューのH-ポジションとメニューのV-ポジション *88*

メニューの透明度 *98*

り

リセット *89*